

# PERSPIRATION



2023 年度  
茨城大学陸上競技部 部誌  
第 18 号

## 目次

I. 2023 年度シーズンを振り返って	1
II. 2023 年度活動報告	5
i) 大会後記	6
関東インカレ/関東甲信越/国公立27大学対校/北関東5大学対校/三浜駅伝 勝田マラソン/国公立27大学対校駅伝	
ii) その他の主な競技会の結果	14
県選手権	
iii) その他の活動	15
協力審判員/宇都宮・群馬・高崎経済・竜ヶ崎一合同合宿	
III. 2024 年度シーズンの抱負	16
IV. 2024 年度活動予定	20
V. 卒業生・修了生より	21
VI. OB/OG 近況報告・現役部員へのメッセージ	36
VII. 記録集	47
茨城大学記録・男子/茨城大学記録・女子/2023 年度ランキング/対校戦順位一覧	
VIII. 部員名簿	52
編集後記・連絡先	53

## I. 2023 年度シーズンを振り返って

### 主将反省

前主将 山内鈴

昨年度の北関東五大学対校戦で前主将の津崎から引き継ぎ、1年間主将として運営を行ってまいりました。この1年間支えてくださった皆様に、この場をお借りして感謝申し上げます。

スローガンに「Break through」を掲げ、主将の経験もない、引っ張れるような競技結果もない主将だからこそ、できることがある伝えられることがあると思って活動してきました。1年間を通して、スタッフとして60人を超える部員をまとめて運営していくこと、全員が目標を持って上に向かっていけるチームを作ることの難しさを実感しました。私自身、競技面・メンタル面ともに苦しい時があり、主将としての役割を果たしきれませんでした。周りの支えによりこの1年間乗り越えることができました。

主将を務めると決まったときから何が正解かずっと分からず躓いてきましたが、同期をはじめとして周りの方々にとっても救われました。主将を務めていた間の後悔は山ほどありますが、主将を務めさせていただいたこと自体には後悔していません。自分を成長させる貴重な1年間を過ごさせていただきました。

今年度の北関東五大学対校戦をもって、主将を中長距離ブロック2年の北村に受け継ぎました。私には、試合で持っている力を出し切れる強いチームを作ることはできませんでしたが、この1年間の経験と後悔を次の代につなげていくことでこれからの陸上競技部に貢献していきます。1年間ありがとうございました。

### 主務反省

前主務 福嶋風杜

昨年の北関東五大学対校戦で前主務の藤沼から引き継ぎ、一年間主務として活動してきました。今年度から学連登録や陸協への登録方法が変わったことや、数年ぶりに開催された楮川ダム駅伝への協力要請など、初めてのことが多く、戸惑いながら進めてきました。

また、一年間活動する中で、先輩や同期、後輩をはじめ先生やOB、OGの方など様々な方に支えられていることをあらためて実感いたしました。こうした方々への感謝の思いを伝えるためにも結果や態度で示していく必要があると思っています。関東インカレをはじめとした各種対校戦や県選手権などで表すことができるように、今後はスタッフのサポートに努めてまいります。

最後になりますが、主務を務めるにあたってご支援していただいたすべての方に感謝を申し上げますとともに、今後とも茨城大学陸上競技部への温かいご支援いただきますよう、よろしくお願いいたします。

## 短距離ブロックの反省

前短距離ブロック長 岡奎一郎

今年度短距離は4年生2人、3年生6人、1年生7人の15人で活動してきました。

今シーズンはリレーで県選3位という結果を残すことができましたが、対校戦での個人の得点率の低さが目立ったシーズンでもありました。来年度はリレーだけでなく、個人の種目でも各々活躍できるシーズンにしていけたらと思います。次のブロック長は1年生ですが、たくさん周りに頼って、気負うことなくのびのびとこの一年間頑張ってもらいたいと思っています。

ブロック長として勤めた一年間でとても貴重な経験をさせていただきました。苦しいこともありましたが、楽しく、かけがえのない時間を過ごすことができました。この部活にいられるのもあと一年ですが、短距離ブロックを陰から支えていけたらと思っています。一年間ありがとうございました。

## 中長距離ブロックの反省

前中長距離ブロック長 羽鳥貴博

本年度の中長距離ブロックは、新たに1年生7名が加わり、計24名で活動してきました。今シーズンは、多くの者が自己ベスト、大学ベストを更新し、対校戦での入賞者、獲得点数の増加など個人種目での活躍が目立ちました。桜原湖での夏合宿を行うことができたことや、退部者を1人も出さなかったことなど雰囲気良く活動できていたと思います。一方で、試合直前での怪我や体調不良があったり、怪我を長引かせたりとシーズンを通して満足のいく結果を残せた者は少なかったように思います。男子に関しては目標としていた「箱根駅伝予選会出場」を叶えることが出来ず、とても悔しい思いをしました。メニューを作成している私の責任であり、ここまで引っ張って来て頂いた4年生方にも申し訳ない結果となってしまいました。この悔しさを来年晴らせるように中長ブロック全員で頑張っていきたいと思います。

今年度はまだ27大学対校駅伝が控えています。男女共に入賞という目標が達成できるようにお互いに高めあっていければと思います。

今年度の反省を生かして、さらに強い中長距離ブロックとなるようにサポートしていきたいと思っています。

## 跳躍ブロックの反省

前跳躍ブロック長 美山翔汰

今年度は1年生が8名と宮田さんが加わり計16人で活動してまいりました。「意見を共有しさらなる自己ベストを目指す」というスローガンのもと、1年生から院2年生まで様々な学年がいる、専門種目が人それぞれであるという長所を生かしながら意見を交え活動することができたと感じています。月に1度のミーティングや日ごろの練習でもコミュニケーションをとりアットホームな雰囲気を持続しながら活動することもできたと思います。

競技結果の面では関東インカレ出場1名、11名14種目の自己ベスト更新がありました。対校戦での入賞や自己ベストの更新、リレー種目での活躍などブロックとして存在感を示すことができたのではないかと感じております。しかし、目標としていた記録や大会への出場、入賞など個人それぞれの目標を達成することができたという人は少なかったのではないかと思います。その原因の一つとしては怪我をしてしまった選手がシーズンの特に前半で多く出てしまったことがあると考えています。練習メニューの強度やウォーミングアップ、練習内・練習外でのケアなどより注意を払う必要があると感じました。

1年間ブロック長として多くの貴重な経験をさせていただきました。来年度は菊池に跳躍ブロック長を引き継ぎます。今年度得た経験も還元していきながら、より強い跳躍ブロックを作ることができるよう組織づくりの面でもサポートをできればと思っております。

## 投擲ブロックの反省

前投擲ブロック長 石川日輝

今年度は1年生が1名加わり、計5名で活動してきました。少ない人数ながらも互いに高め合いながら競技力の向上にむけ練習に励むことができていたと思います。ブロック員が全員そろっての練習があまり多く取れませんでした。一人ひとりが意識高く練習することができました。全員がそろった時には、ブロック員同士でアドバイスを出し合い、サポートしながら練習を行うことができ、個々の技術向上だけでなく投擲ブロックの力を向上させることができたと思います。しかし、茨大の投擲ブロックの力はこんなもんじゃないはずです。試合になると思うような投げができず、対校戦では思うような結果が出ないこともありました。練習と試合の雰囲気や空気感の差を少なくすること、試合を想定した練習をする必要があったと反省しています。

来年度の投擲ブロック長も石川が務めます。今年度の反省を生かし、ブロック員の力を最大限に引き出し最高のパフォーマンスができるよう投擲ブロックを引っ張っていきたいと思います。少ない人数でも圧倒的存在感を放つブロックを目指して投擲ブロック員一同頑張ります。

## マネージャーブロックの反省

前マネージャーブロック長 大島涼葉

今年度のマネージャーブロックは、4年次藤沼、真木、3年次丹野、1年次大島、高橋の5人という少ない人数で協力しながら活動してきました。4年生、3年生は私たち1年生をあたたく迎えてくださり、仕事を丁寧に分かりやすく教えてくださいました。そのため私たち1年生はすぐにチームに馴染むことができ、仕事もすぐに覚えることができました。今年は選手のみなさんの協力のおかげで充実した活動を行うことができた年だったと思います。

また、今年度は「継続と改善」という目標を掲げて活動してきました。学年を越えた選手のサポートや茨大ランキングの更新、マネージャー通信の作成などを継続して行うことができたところは良いところだったと思います。また、昨年度改善点としてあげられていた大会時の得点の計算の精度に関しては、選手の皆さんと協力して効率よく行うことができ、誤差を最小限に抑えた計算結果を提示することができました。さらに、夏期には本格的な給水ができたところも良い点だったと思います。「継続と改善」ができたところもある一方で、自己ベストの更新を見てもらえるように声掛けができなかったり、計測ミスをしてしまったりといくつか反省点がありました。来年度はこれらの改善に努めていきたいと思っています。

次期ブロック長は引き続き大島が務めます。今年度の目標は「見る 聞く 話す」です。マネージャーとして、人として成長していきたいと思いこの目標にしました。選手や周りの様子をよく見て、要望や相談を聞き、すべきことを確実にこなすようにしていきたいと思っています。また1人で全てを抱え込まずに、自分の気持ちを正直に伝えて、選手の皆さんと助け合いながら活動していきたいと思っています。少ない人数での活動となりますが、できる限りのことを全力で行い、頼り甲斐のあるマネージャーになれるように努めてまいります。

## 日立ブロックの反省

前日立ブロック長 石川暖

今年度の日立ブロックは長距離の3人を新たに加えた、計14人で活動してきました。授業時間の関係で、なかなか一緒に練習することはありませんでしたが、それぞれが時間を見つけ、目標に向けて練習を行っていたと思います。大会では、去年以上の成果、自己ベスト更新者多数と、文句のつけようのない結果になったと思います。

新しい日立ブロック長は椎葉に引き継ぎました。来年度は、院に行かれる4年次の方で陸上を続けられる方が多いことに加え、一年次が大量に入ってくることから、日立ブロックが今までにない大所帯になります。それをまとめ上げるのは大変なことだと思います。ですが心配はしていません。彼ならきっとやり遂げられると信じています。もしも彼が困っていたら、一人で背負わせないようみんなで助けてあげてください。全員で日立ブロックをより良いものにしていきましょう。

来年度も日立ブロックをよろしくお願いします。

## II. 2023 年度活動報告

日程	大会名	場所
5/11～5/14	第 102 回関東学生陸上競技対校選手権大会	相模原ギオンスタジアム(神奈川)
7/7～7/9	第 78 回茨城県陸上競技選手権大会	笠松運動公園陸上競技場(茨城)
8/23～8/24	第 72 回関東甲信越大学体育大会	三ッ沢公園陸上競技場(神奈川)
9/22～9/24	第 36 回国公立 27 大学対校陸上競技大会	上尾運動公園陸上競技場(埼玉)
11/4	第 74 回北関東五大学対校陸上競技大会	カンセキスタジアムとちぎ(栃木)
12/3	第 77 回三浜駅伝競走大会	ひたちなか(那珂湊)
1/28	第 71 回勝田全国マラソン	ひたちなか
2/24	第 20 回国公立 27 大学対校駅伝大会	熊谷スポーツ文化公園(埼玉)





## i) 大会後記

### 第 102 回関東学生陸上競技対校選手権大会

(2023/5/11～14 相模原ギオンスタジアム：神奈川)

第 102 回関東学生陸上競技対校選手権大会において、茨城大学からは個人種目 2 名 3 種目、リレー種目 1 チーム 4 名が出場いたしました。男子 3 部（大学院の部）に出場した私（小林）以外は、全員初出場でした。

リレー種目は男子 4×100m リレーにおいて昨シーズンに標準記録を突破し、5 年ぶりに本大会への出場を果たしました。結果は 7 着で予選落ちと今回は振るいませんでしたが、長らく苦しんでいた短距離ブロックが、大きな一歩を踏み出してくれたと感じています。

また、投擲ブロック 3 年の福嶋もサブ種目ながら円盤投にて本大会に初出場し、貴重な経験を積むことができたと思います。来年度は本種目のやり投での出場と上位入賞を目標に頑張ってもらいたいと思います。

男子 3 部では私が三段跳と走幅跳に出場いたしました。怪我明けで厳しい戦いになってしまい、最上級生として後輩へ勝つ姿を見せられなかったことはとても悔しかったです。しかし、人生で最後の関東インカレで勝負できたことを大変嬉しく思います。

今シーズンは本大会への出場者が少なかったため、各種目へのコメントとなりましたが、来年度は文責を担当した方が全て書ききれないほど多く選手が出場できることを願っております。

最後になりますが、本大会に関わってくださった全ての方々に感謝申し上げます。また、OB・OG の皆様にはいつも多大なるご声援とご支援、本当にありがとうございます。私も来年度からは OB の一員となり、見守る立場になります。ぜひ来年度からの在学学生のご活躍を期待しております。（文責：小林洋大）

関東インカレ結果(出場者)

種目	名前	記録	順位
男子 2 部 4×100mR 予選	岡・大塚・大場・遠井	42.79	
男子 3 部 三段跳 決勝	小林 洋大	14m16 (+0.3)	7 位
男子 3 部 走幅跳 決勝	小林 洋大	6m87 (+1.9)	5 位
男子 2 部 円盤投 決勝	福嶋 風杜	33m96	14 位



## 第 72 回関東甲信越大学体育大会

(2023/8/23～24 三ッ沢公園陸上競技場：神奈川)

第 72 回関東甲信越大学体育大会は、神奈川県三ッ沢公園陸上競技場で開催されました。

今大会では男子総合 4 位、女子総合 6 位の成績を収めました。真夏の酷暑となり厳しい環境下ではありましたが、各々が日頃の練習の成果を発揮することができました。中でも、男子 3000mSC において 2 年次山田、男子ハンマー投において 1 年次大和田が優勝するなど 1、2 年次の活躍が見受けられチームの勢いを感じられました。総合順位は男女ともに昨年度よりもよい順位となっており、来年度は今年度以上の活躍を期待しています。(文責：鬼澤大地)

### 関甲信結果(8 位入賞者)

種目	氏名	記録	順位
男子 200m	大場 有志	22.57(-0.6)	4 位
男子 5000m	本村 吉	15:49.77	7 位
男子 400mH	宮地 歩夢	59.27	7 位
男子 3000mSC	山田 康太	9:38.72	1 位
	鬼澤 大地	10:00.07	5 位
男子 4×100mR	山口・大塚・岡・成瀬	42.08	4 位
男子 4×400mR	大塚・美山・山口・遠井	3:27.78	6 位
男子 走高跳	榎本 光希	1m90	3 位
	伊藤 舜	1m85	6 位
男子 棒高跳	藤井 航友	3m40	7 位
男子 三段跳	成瀬 慎人	13m30(+2.1)	6 位
	櫛田 旺来	13m29(+3.7)	7 位
男子 砲丸投	大和田 健太	10m33	4 位
	渡部 善貴	10m04	7 位
男子 円盤投	大和田 健太	33m75	4 位
男子 ハンマー投	大和田 健太	30m06	1 位
男子 やり投	渡部 善貴	53m68	2 位
女子 400m	高村 茜	1:02.80	6 位
女子 800m	山内 鈴	2:24.03	4 位
女子 1500m	山内 鈴	4:50.14	4 位
女子 4×100mR	大森・服部・西原・高村	51.49	7 位
女子 4×400mR	服部・高村・山内・大森	4:14.89	6 位
女子 三段跳	大森 麻由	10m98(+1.8)	4 位
	高村 茜	10m91(+3.3)	6 位
女子 円盤投	石川 日輝	33m42	4 位
女子 やり投	石川 日輝	33m56	6 位

### 第36回国公立27大学対校陸上競技大会

(2023/9/22～24 上尾運動公園陸上競技場：埼玉)

第36回国公立27大学対校陸上競技大会が上尾運動公園陸上競技場で9/22-9/24の3日間にかけて開催されました。

今年度の27大は現4年生が入学してから初の声出し応援が解禁された27大でした。最終種目の4×400mRではスタンドからおりてトラックの近くで集団応援をすることができ、各大学の競技への熱を感じると共に、茨城大学陸上部のチームとしての一体感を感じました。

茨城大学の競技結果としては、昨年度と比較して、予選を通過する選手が多かったものの、決勝にはあと一歩及ばず悔しい結果となった選手が多かったように思います。この結果を昨年度と比較して成長していると捉えることも出来ますが、まだ勝負できるレベルに届いていないとも捉えることが出来ると思います。よりレベルアップして他大学と勝負するには、昨年度の部誌で住田さんが仰ったように競技の本質を考え、理解することが重要であると思います。

来年度はより多くの入賞者が出ることを願っております。(文責：渡部善貴)

#### 27大学対校結果(8位入賞者)

種目	氏名	記録	順位
男子 走高跳	榎本 光希	1m90	4位
	伊藤 舜	1m90	7位
男子 走幅跳	小林 洋大	7m05(+2.5)	3位
男子 三段跳	小林 洋大	14m41(+1.8)	5位
男子 砲丸投	大和田 健太	10m87	8位
男子 円盤投	大和田 健太	36m23	2位
男子 やり投	渡部 善貴	52m21	5位
女子 400m	高村 茜	1:00.55	8位
女子 4×100mR	大森、服部、西原、高村	52.09	7位
女子 4×400mR	服部、大森、高村、山内	4:11.54	7位
女子 三段跳	高村 茜	11m20(+0.2)	5位
	大森 麻由	11m08(+1.9)	6位
女子 円盤投	石川 日輝	33m54	1位
女子 やり投	石川 日輝	35m94	4位

## 第 74 回北関東五大学対校陸上競技大会

(2023/11/4 カンセキスタジアムとちぎ：栃木)

今年度の北関東五大学対校陸上競技大会は、栃木県総合運動公園陸上競技場で行われました。対校順位は、男子総合2位、女子総合4位という結果でした。男子は優勝まであと3点と成長が感じられる一方で、悔しさが残る結果となりました。女子は少ない人数での戦いになりましたが、半数以上が1年生であり来年度も多く部の部員が残るため、今後の成長が期待されます。また、個人的な結果を見ると、関東インカレの標準を切った選手や、自己ベストを更新した選手が複数いました。

今大会は、4年次と院2年次が引退する節目の大会でした。しかし、今年度は多くの4年次が大学院でも陸上競技を続けます。来年度からは対校枠争いが熾烈になると考えられるため、チーム内でも切磋琢磨しあい、茨城大学陸上競技部として強くなればと思います。そして、来年度の北関東五大学で総合優勝できるよう、日々精進してまいります。(文責：高村茜)

北関東五大学対校結果(優勝者)

種目	氏名	記録
男子 3000mSC	山田 康太	9.31.41
男子 走高跳	榎本 光希	1m95
男子 走幅跳	小林 洋大	7m01(+1.9)
男子 円盤投	大和田 健太	34m37
女子 三段跳	高村 茜	11m35(+2.3)
女子 円盤投	石川 日輝	34m00



## 第 77 回三浜駅伝競走大会

(2023/12/3 ひたちなか市・大洗町)

三浜駅伝競走大会が12月3日に開催され、男子3チームが出場しました。一般男子の部(34.4km)において全55チーム中のAチームは4位、Bチームは10位、Oチームは21位という結果でした。

Aチームは3位以内の入賞を目指していましたが、昨年に引き続いて4位という悔しい思いをしました。

1、2年生のメンバーで構成されているため、まだまだ伸びしろが大きいチームだと思います。来年こそは4位からの脱却、そして優勝を目指して練習に励んでほしいと思います。(文責：中村天嶺)

### 三浜駅伝結果(34.4km) Aチーム 一般男子の部 4位

	1区(6.1km)	2区(7.5km)	3区(3.3km)	4区(6.8km)	5区(5.0km)	6区(5.7km)
氏名	北村 樹	山田 康太	平出 悠翔	椎葉 威風	中澤 唯人	石川 純
記録	19.19	24.23	10.35	21.57	16.24	17.48
順位	(区間6位)	(区間7位)	(区間4位)	(区間6位)	(区間4位)	(区間3位)
総合	19.19(6位)	43.42(6位)	54.17(4位)	1:16.14(5位)	1:32.38(4位)	1:50.26(4位)

### Bチーム 一般男子の部 10位

	1区(6.1km)	2区(7.5km)	3区(3.3km)	4区(6.8km)	5区(5.0km)	6区(5.7km)
氏名	下平 竣也	八木 奎伍	西脇 真輝	羽鳥 貴博	宮内 翔平	川添 敬介
記録	19.27	26.07	11.43	23.40	19.01	18.10
順位	(区間7位)	(区間18位)	(区間12位)	(区間11位)	(区間18位)	(区間6位)
総合	19.27(7位)	45.34(12位)	57.17(10位)	1:20.57(9位)	1:39.58(10位)	1:58.08(10位)

### Oチーム 一般男子の部 21位

	1区(6.1km)	2区(7.5km)	3区(3.3km)	4区(6.8km)	5区(5.0km)	6区(5.7km)
氏名	中村 天嶺	矢吹 雅行	宮本 佳汰	鬼澤 大地	大塚 泰地	津崎 柊人
記録	20.09	23.05	17.08	22.11	20.46	23.08
順位	(区間14位)	(区間2位)	(区間54位)	(区間8位)	(区間31位)	(区間34位)
総合	20.09(14位)	43.14(4位)	1:00.22(21位)	1:22.33(14位)	1:43.19(15位)	2:06.27(21位)

## 第 71 回勝田全国マラソン

(2024/1/28 ひたちなか)

2024年1月28日に第71回勝田全国マラソンが開催されました。大学院2年生並びに4年生がフルマラソン、中長距離ブロックメンバーがフルマラソン及び10kmに出場しました。当日は天候にも恵まれ、各々がそれぞれの目標に向かって全力で走ることができました。大会運営スタッフからの給水等や沿道からの温かい声援、そして部員の皆様からの手厚い応援・サポートによって、各々が持てる力以上の走りが出来たのではないかと思います。惜しくも全員完走とはなりませんでしたが、何事にも代えがたい経験をすることができたと感じています。

私自身も前半ハイペースで入ったため足をつってしまい、後半は何度もやめようと諦めかけましたが、皆様の応援の力で何とかゴールまでたどり着くことができました。きっとこの声援に助けられたのは私だけではないはずです。本当にありがとうございました。茨城大学陸上部OBの方や他大の選手と交流する機会もあり非常に有意義な大会となりました。(文責：矢吹雅行)

### 勝田マラソン結果

氏名	記録	順位	氏名	記録	順位
男子マラソン 39歳以下の部(1762人中)					
矢吹 雅行(4)	2:47.12	185位	中澤 唯人(2)	2:50.32	195位
中村 天嶺(4)	3:18.27	537位	羽鳥 貴博(3)	3:30.21	664位
八木 奎伍(3)	3:40.45	765位	北村 樹(2)	3:47.07	881位
平出 悠翔(2)	3:49.08	905位	津崎 柊人(4)	3:59.11	985位
小林 洋大(M2)	4:16.55	1129位	鬼澤 大地(4)	4:36.12	1318位
大塚 泰地(4)	5:13.27	1548位	本村 吉(4)	5:21.30	1596位
渡部 善貴(4)	5:21.29	1597位	宮本 佳汰(4)	なし	
女子マラソン 39歳以下の部(224人中)					
藤沼 奈瑠(4)	5:16.25	181位	高村 茜(4)	5:16.25	182位
真木 和泉(4)	5:16.25	183位			
男子 10km 39歳以下の部(678人中)					
久野 彩翔(2)	35.02	16位			
女子 10km 39歳以下の部(307人中)					
岡村 歩璃(2)	44.30	16位			

## 第 20 回国公立 27 大学対校駅伝大会

(2024/2/24 熊谷スポーツ文化公園：埼玉)

第 20 回国公立 27 大学対校駅伝大会は、埼玉県熊谷スポーツ文化公園で開催されました。

男女共に対校 1 チーム、オープンには 4 チームが出場しました。コロナ禍の制限も緩和され有観客での開催となり活気のある大会となりました。大会を開催するにあたり運営にご尽力いただいた皆様に心より感謝申し上げます。

結果について、対校男子は総合 9 位でした。試合直前にチーム内での故障者が続出した中でも入賞が見える位置で戦うことができたのは大きな成果だと思います。しかし、入賞を目指すにはもう 1 段階上のレベルが必要となります。山田、北村が中心となり来年度はさらに強いチームを目指して頑張ってください。対校女子は総合 6 位入賞でした。少ない人数の中でも一人一人が力を出し切り、他大学に負けず戦うことができたと思います。来年度は表彰台に上がることができるように部員の確保にもブロック全体で積極的に取り組んでほしいと思います。男女共に今年度以上の躍進を期待しています。

本大会では沿道からの応援が力になりました。本当にありがとうございました。皆様の今後のご活躍を心よりお祈りしています。(文責：本村吉)

### 27 大駅伝結果(38.54 km) 対校男子 総合 9 位

	1 区(9.85 km)	2 区(3.12 km)	3 区(7.57 km)	4 区(5.00 km)	5 区(5.00 km)	6 区(8.00 km)
氏名	矢吹 雅行	石川 純	本村 吉	北村 樹	椎葉 威風	山田 康太
記録	30.31	9.35	24.20	15.55	15.38	25.36
順位	(区間 9 位)	(区間 7 位)	(区間 12 位)	(区間 7 位)	(区間 2 位)	(区間 8 位)
総合	30.31(9 位)	40.06(9 位)	1:04.26(13 位)	1:20.21(9 位)	1:35.59(8 位)	2:01.35(9 位)

### オープン A 茨城大学 B

	1 区(9.85 km)	2 区(3.12 km)	3 区(7.57 km)	4 区(5.00 km)	5 区(5.00 km)	6 区(8.00 km)
氏名	羽鳥 貴博	平出 悠翔	下平 竣也	中村 天嶺	中澤 唯人	久野 彩翔
記録	34.25	10.10	26.30	17.18	16.23	27.22
順位	(区間 28 位)	(区間 13 位)	(区間 22 位)	(区間 19 位)	(区間 7 位)	(区間 16 位)
総合	34.25(28 位)	44.35(24 位)	1:11.05(24 位)	1:28.23(23 位)	1:44.46(20 位)	2:12.08(20 位)

27 大駅伝結果(16.24 km) 対校女子 総合 6 位

	1 区(5.00 km)	2 区(3.12 km)	3 区(3.12 km)	4 区(5.00 km)
氏名	山内 鈴	村井 友音	高村 茜	岡村 歩璃
記録	18.16	13.08	12.45	20.03
順位	(区間 5 位)	(区間 8 位)	(区間 5 位)	(区間 6 位)
総合	18.16(5 位)	31.24(6 位)	44.09(5 位)	1:04.12(6 位)

オープン B 茨城大学 C

	1 区(5.00 km)	2 区(3.12 km)	3 区(3.12 km)	4 区(5.00 km)
氏名	西脇 真輝	宮内 翔平	山崎 海翔	八木 奎伍
記録	17.06	10.42	10.58	16.52
順位	(区間 12 位)	(区間 8 位)	(区間 7 位)	(区間 6 位)
総合	17.06(12 位)	27.48(7 位)	38.46(6 位)	55.38(5 位)

オープン B 茨城大学 D

	1 区(5.00 km)	2 区(3.12 km)	3 区(3.12 km)	4 区(5.00 km)
氏名	宮地 歩夢	松下 侑生	遠井 奏楽	大場 有志
記録	20.38	11.53	11.33	19.35
順位	(区間 44 位)	(区間 23 位)	(区間 15 位)	(区間 28 位)
総合	20.38(44 位)	32.31(35 位)	44.04(25 位)	1:03.39(26 位)

オープン B 茨城大学 E

	1 区(5.00 km)	2 区(3.12 km)	3 区(3.12 km)	4 区(5.00 km)
氏名	藤井 航友	福嶋 風杜	岡 奎一郎	宮田 祐大
記録	19.28	13.32	14.33	22.13
順位	(区間 36 位)	(区間 39 位)	(区間 42 位)	(区間 42 位)
総合	19.28(36 位)	33.00(37 位)	47.33(40 位)	1:09.28(40 位)



ii) その他の主な競技会の結果

茨城県選手権(2023)8位入賞者

種目	氏名	記録	順位
男子 800m	平出 悠翔	2:01.28	8位
男子 3000mSC	山田 康太	9:29.70	3位
男子 4×100mR	山口・岡・大場・中野	41.80	3位
男子走高跳	榎本 光希	1m90cm	6位
	伊藤 舜	1m85cm	7位
男子走幅跳	小林 洋大	6m97cm	3位
男子三段跳	小林 洋大	14m52cm	2位
男子円盤投	大和田 健太	35m48cm	5位
男子やり投	渡部 善貴	57m28cm	5位
女子 4×400mR	服部・高村・山内・大森	4:14.17	6位
女子三段跳	高村 茜	11m01cm	7位
女子円盤投	石川 日輝	34m80cm	7位



### iii) その他の活動

#### 協力審判員

私たち茨城大学陸上競技部は、競技者としてだけではなく、協力審判員としても陸上競技に関わっています。今年度も笠松スポーツフェスティバルや中学生の陸上記録会を中心に参加させていただきました。協力審判員の活動を通して、大会運営は多くの方々の支援があって成り立っていることやそのありがたみを実感しました。今後も大会の運営に携わっている方々に支えられているという感謝の気持ちを持って競技に励み、審判員としても陸上競技に貢献していきたいと思っております。(文責：山内鈴)

#### 主な審判員活動の内容

跳躍審判、投てき審判、監察員、周回記録員、風力計測員、写真判定員、記録員、競技者係、出発係、スター・リコーラー

月日	大会名
5/5	水戸招待陸上
5/21	スポーツフェスティバル
6/3	県中学記録会
6/10	県中学混成兼記録会
6/18	スポーツフェスティバル
7/8～9	県選手権
7/15	県中学総体
9/28	県中学新人
10/29	水戸黄門漫遊マラソン

#### 冬季合同合宿

12月23日～24日にかけて、宇都宮大学、群馬大学、高崎経済大学、そして竜ヶ崎一高の方々と阿字ヶ浦にて合同合宿を行いました。1日目、午前中は全ブロック共通で練習を行い、午後から各ブロックに分かれて練習しました。2日目は午前にブロック練習、最後は砂浜で恒例のエンドレスリレーを行いました。2日間とも天候に恵まれて、海浜公園や砂浜、競技場などで充実した練習ができました。また他大学や高校生の皆さんと交流したり、競争、励ましあいながら練習したりすることで多くのことを学ぶことができました。時間の使い方や練習に向かう姿勢に刺激を受ける人も多く、とても有意義な合宿となりました。今回の合宿で学び、吸収したことを普段の練習から生かしていきたいと思っております。来年度もこの合宿を継続したいと考えておりますので是非ご参加ください。今回ご参加していただいた皆様本当にありがとうございました。

昨年の合宿と異なる点が多く、スタッフも不安な点や不慣れな点も多くありましたが皆様のおかげで無事合宿を終えることができました。ご協力ありがとうございました。(文責：平出悠翔)

### Ⅲ. 2024 年度シーズンの抱負

#### 主将抱負

主将 北村樹

前主将の山内から引き継ぎ、茨城大学陸上競技部の主将を務めさせていただく中長ブロック 2 年の北村樹です。

昨年 11 月からスタッフを引き継ぎ、すでに 3 か月と半月が経過しようとしております。既に多くの方々からご指導、サポートをいただいておりますことを、この場をお借りして感謝申し上げます。

さて、2024 年度の茨城大学陸上競技部の運営にあたって、スローガンは「威風堂々」とさせていただきました。一昨年度、そして昨年度のスタッフの方々の運営により、茨城大学陸上競技部は上下関係の壁をいい意味で壊し、部全体の結束力を強めてまいりました。そうした自慢の集団をもう一つでも、二つでも上のステージで戦わせることのできるよう、また、どこに出ても恥じないような人間性と競技力を身に着けるという意味を込めております。このようなスローガンを掲げた以上、主将として先頭に行く私自身が皆さんの模範となれるよう精進してまいります。

最後になりますが、競技力の至らぬ私を信頼し主将という立場においていただき、改めまして感謝申し上げます。前述のとおり様々な方からサポートをいただき、かつ同期に支えられながらようやく形となっているような私ですが、歴代主将に恥じぬよう、何より自分自身を恥じることをしないよう全身全霊で取り組んでまいりますので、今後もお付き合いのほどどうぞよろしくお願い致します。

#### 主務抱負

主務 石川日輝

前主務の福嶋から引き継ぎ、主務を務めさせていただくことになりました。投擲ブロック 2 年次の石川です。

昨年 11 月から主務として本格的に始動し、約 3 か月がたちました。不慣れな仕事も多く手探り状態ではありますが、先生方をはじめ、先輩方や同期のスタッフ、後輩たちに支えられながらなんとか活動しています。今まで当たり前のように活動していた裏で部のために尽力して下さった先輩方の偉大さを痛感するとともに、部を運営していくことの難しさと責任を日々感じています。

先輩方が作り上げた茨城大学陸上競技部の良さを活かしつつ、よりよいチームとして成長できるよう、主務としての自覚と責任を持ち、同期スタッフとともに一年間尽力していきたいと思っております。

至らない点も多くあると思いますが、精一杯務めて参りますので、どうぞよろしくお願い致します。

## 短距離ブロックの抱負

短距離ブロック長 青木廉

いつも楽しく元気よく、そんな中でも切磋琢磨し、高い目標を掲げ、全体として成長できる。そんなブロックを作っていきたいと思っています。

去年の 27 大学対校戦を思い出してください。短距離ブロックの得点は 0 でした。ならば今年はその雪辱を果たさなければ。そのためには「日進月歩」、練習の継続が不可欠です。ただし、それも意味のある継続、質の高い練習を行っていきましょう。

来年度 4 年生が多いということもあり、私含め関東インカレの出場を狙っている人が多数います。各々目標は違いますがそんな皆様のサポートを全力で行っていくつもりであります。

ひと味違う短距離ブロックをお見せできるよう、これからも皆様に期待していただけるよう努めていきます。これからもよろしくお願ひします。

## 中長距離ブロックの抱負

中長距離ブロック長 山田康太

2023 年シーズンの中長距離ブロックは、複数種目において対校戦で得点するなどのチームに貢献できたシーズンでした。しかし、当初からの目標であった 27 大駅伝入賞や箱根駅伝予選会の出場を果たすことができませんでした。

エースに頼りっぱなしではなく、全員で戦えるチームになると先述した目標は達成できると思います。そして、対校戦などの個人の競技結果に繋がると思います。

数は力です。この人数がいるという力を活用できるように、スプレッドシートの有効活用や各個人の目標を共有し、互いに切磋琢磨できる環境をつくっていきます。そして、質の高い練習にしていき競技力向上へと繋げていきます。

1 年間よろしくお願ひします。

## 跳躍ブロックの抱負

跳躍ブロック長 菊池悠太

今年の跳躍ブロックは、「GROW UP」をスローガンとしました。跳躍ブロックは、今年新たに 8 人の一年生が入部し、新たなメンバーで切磋琢磨をすることやそれぞれが目標に向けて挑戦をすることで、さらに成長していくことができると考えています。

メンバーの個性が違えば、専門競技も異なり、意見が食い違ってぶつかり合うこともあると思いますが、アドバイスをすることや言葉を掛け合うことで多くの練習を積み重ね、競技力向上を図りたいと考えています。

また、競技場で練習するときや日々の練習では、他ブロックに練習用具の準備をしていただくことやマネージャーをはじめとする仲間にはコンディションのサポートをしていただくこともあると思うので、周りの人への感謝を忘れずに練習していきます。そして、選手（プレーヤー）や人として成長していきます。

最後になりますが、全員で自己ベスト更新をし、対校戦では得点源となれるように励んでいきますので、1 年間よろしく願いいたします。

## 投擲ブロックの抱負

投擲ブロック長 石川日輝

今年の投擲ブロックのスローガンは「Let's enjoy!」としました。おや、どこかでみたことがあるなと思う人もいるかもしれません。2 年前の投擲ブロックのスローガンと同じですね…。適当に同じのをつけたわけではないです。断じて。もう一度陸上を、投擲を、競い合うことを、自らを高めることを、楽しむこと思い出そうという思いを込めました。

昨年に引き続き、ブロック員が少ないこと、そのブロック員の半分が日立キャンパスに在籍することもあり、個人の練習への意識とモチベーションが重要になると考えられます。ブロック員全員が集まることは少ないと思いますが、その機会を大切に互いに高めあっていければいいなと思います。

## マネージャーブロックの抱負

マネージャーブロック長 大島涼葉

今年のマネージャーブロックの目標は「見る 聞く 言う」です。周囲の状況や選手の状態をよく見て、選手の要望をしっかりと聞くことを意識して活動していきたいと思っています。また、後輩だからと物怖じせずに伝えたいことを正直に伝えて、選手の皆さんと協力して活動していきたいと思っています。

## 阿見ブロックの抱負

阿見ブロック長 北村樹

今年度から新たに阿見ブロック長の立場をいただきました、北村樹です。阿見ブロックは現在 3 人で活動を行う、少数精鋭のブロックとなります。

皆さんが知らない阿見という土地をこの場をお借りして少し紹介させていただきます。まずは最寄りの競技場ですが、トラックが土です。ゴムではありません。また、専門の授業の関係上活動時間が遅くなるため、またブロック員が全員中長ブロックということもあり、活動は基本ロードで行われておりますが、そのロードですら道の起伏が激しく、不整地での練習となっております。

こうした環境の中ですが、ブロック員は全員それらをマイナスにとらえることなく、志を高く「陸上部の本部を水戸から阿見へ」移すよう虎視眈々とその機会を狙っております。来年度から新たにブロック員を2人迎え勢力を増すそんな阿見ブロックですが、農学部でも陸上競技に取り組めることを水戸・日立ブロックに証明することはもちろん、新入生にも周知させ、部員の確保に貢献してまいります。今後とも精力的に取り組んでまいりますので、阿見ブロックをどうぞよろしくお願い致します。

## 日立ブロックの抱負

日立ブロック長 椎葉威風

今年度の日立ブロックは、21 人になり部の約 3 分の 1 を占めることとなります。このように部の大きな割合を占めているにもかかわらず、日立組は水曜と土曜の練習以外は各自練という形となっております。そこで今年度は、「日立組の本格化」を進めてまいりたいと思います。具体的には現状では、各自練習をしている人としていない人が分かれておりモチベーションに大きく差があります。それを改善するために、今年度からは週 1 で日立練習を実施していきたいと考えています。

このように、部の大きな信頼を占める日立ブロックは、今年度から水戸ブロックに負けずに部を支えられるように頑張っていきたいと思います。

#### IV. 2024 年度活動予定

日程	大会名	場所
5/9～12	第 103 回関東学生陸上競技対校選手権大会(関東インカレ)	国立競技場(東京)
6/14～16	2024 日本学生陸上競技個人選手権大会	レモンガススタジアム平塚(神奈川)
6/27～30	第 108 回日本陸上競技選手権大会	デンカビッグスワンスタジアム(新潟)
7/5～7	第 79 回茨城県陸上競技選手権大会	笠松運動公園陸上競技場(茨城)
未定	第 73 回関東甲信越大学体育大会	
未定	第 93 回日本学生陸上競技対校選手権大会(日本インカレ)	
未定	第 56 回関東理工系学生対校陸上競技大会	
9/27～29	第 35 回関東学生新人陸上競技選手権大会	相模原ギオンスタジアム(神奈川)
9/28～30	第 37 回国公立 27 大学対校陸上競技大会	笠松運動公園陸上競技場(茨城)
10/5	第 30 回関東大学女子駅伝対校選手権大会	
10/11～15	第 78 回国民体育大会	SAGA サンライズパーク SAGA スタジアム(佐賀)
未定	第 101 回東京箱根間往復大学駅伝競走予選会	
未定	第 75 回北関東五大学対校陸上競技大会	
未定	第 78 回三浜駅伝競走大会	ひたちなか(那珂湊)
未定	阿字ヶ浦合同合宿	阿字ヶ浦海岸
1/26	第 72 回勝田全国マラソン	ひたちなか
未定	第 21 回国公立 27 大学対校駅伝大会	
未定	第 33 回楮川ダム駅伝競走大会	楮川ダム(水戸)
3/14～16	関東学連春季オープン競技会	



## V. 卒業生・修了生より

### 小林洋大

私は学部4年間、大学院2年間の計6年間茨城大学陸上競技部に所属いたしました。本当にたくさんのことがあり、充実した6年間だったと思います。部誌はHPにリンクとして残るとのことなので、これまでの振り返りを書き記そうと思います。

1年生の4月に入部し、6月に木内弟と走り、肉離れを起こし、皆に怒られました。1ヶ月で無理やり復帰するも、今度は木内兄によって3本目捲り事件の被害者になりました。千葉対校と5大は優勝しましたが、三段跳で14m跳べなかった年となってしまいました。2年生は負けまくった年でした。この年も恒例の木内兄3本目捲り事件が起きました。(ただそれ以外の試合では勝っています。)さすがにまずいと思い、この年の冬は心臓を捧げるくらい努力しました。そして3月に疲労骨折しました。また、皆に怒られました。しかし、偶然ながら怪我の療養期間がコロナ禍と被ります。試合が開催され始めたときに復帰し、走幅跳7m02と走幅跳14m44を跳びました。この年は関カレに個人初出場しました。怪我中にもかかわらずスミノフ氏が車で相模原まで連れて行ってくださいました。私は台風の中惨敗してしまいましたが、後輩の小滝君と善貴君はちゃっかり入賞していました。なんであの天気で勝てんの。4年生になって、コロナで10月まで試合無し。しかし、久しぶりの試合で7m11と14m63を跳びました。幅跳は約半世紀ぶりの茨大新だったみたいです。どちらかというに関カレ標準切ったことの方が嬉しかったです。それから院生になり、関東インカレが国立競技場で開催されました。招集所からフィールドに入った瞬間の景色は今でも忘れないくらい鳥肌モノでした。三段跳で14m中盤を久しぶりに跳んだのですが、全体応援の中での走幅跳で良い結果が残せませんでした。この時から、「もう簡単に負けちゃあかんのだな」と思い始め、よく緊張するようになりました。そして迎えた県選手権で7m34を跳んで優勝しました。緊張すればするほど力を出せるタイプでした。ただ、2本目までガチガチだった私を今でも佟人君はいじってきます。三段跳も6本目で逆転し2冠しました。新聞の記事になりましたが、取材中に物理学の話を熱弁して記者の方に引かれたのは一生の思い出です。この勝利をきっかけに、好調をなんとかキープしていたのですが、負ける自分を見られたくないという思いが強く、怖がりながら陸上をしていました。もう少し楽しんで良かったかなと思います。さて、最終学年の修士2年と行きたいところですが、冬に高跳びで足首の靭帯を損傷しました。経緯は忘れましょう。ただこれで陸上人生積みました。それでもなんとか最後の関東インカレには出場できました。結果は全然ダメでしたが、皆さんに応援してもらって幸せでした。その次は連覇のかかった県選手権でしたが、正直このままだと勝てないと思い、もう一度心臓を捧げて練習を積みました。結果的に優勝できなかったのですが、表彰台なら耐えた方だと思います。結局最後のシーズンは7m0台と14m50台を跳びまくってしまっていて終わりました。ただ、100mという新しい趣味を見つけられたので良しとします。5大で1個下最強世代3人と4継走れたこと、マイルでアンカーのスミノフ氏が爆死したことは一生の思い出です。良き6年間でした。

だらだらと書いてしまいましたが、こんな感じで私は陸上をしていました。そして、後輩たちへ伝えたいことは2つあります。1つは選択に自信を持つことです。人間誰も選択に迫られる瞬間は多くあります。そ



の選択はなぜ選んだのかの根拠をもち、自信を持ちましょう。そうすれば負けたときに実力が足りなかったのかミスだったのかははっきりします。これで負けたならしょうがないと割り切れれば、選択に迷いもなくなりパフォーマンスは向上すると思います。もう一つは自分を裏切らないことです。誘惑って世の中にたくさんあります。友人から遊びに誘われた時、一瞬でも行くか迷ったら自分に問いかけてみてください。「今何をすべきか。」勝ちたい相手がいるのに、その人より練習していなければ、おそらくその人に勝つことは不可能だと私は思います。だからこそ、自分を裏切らず後悔のない陸上競技生活を送ってください。(もちろん行きたいときは行きましょう。)

そして、上地先生、渡邊先生には6年間私をご指導していただき本当にありがとうございました。陸上競技のことだけでなく、人として成長するために背中を押してくださる存在でした。卒部後も大会等でお会いしたらぜひご挨拶させてください。

また、OB・OGの皆様にはいつも暖かいご声援と多大なるご支援をいただき本当にありがとうございました。大会のエントリー料や遠征費など学生の金銭的な負担を支えてくださいました。また、茨大記録を更新したことにより、多くのOB・OGの方にお声掛けいただき大変嬉しかったです。今後は私もOBの一員として少しでも競技部の応援をしたいと思います。

最後になりましたが、6年間関わってくださった全ての方に感謝申し上げます。

理工学研究科/量子線科学専攻/跳躍

三段跳・14m63/走幅跳・7m34

## 松本 直人「キャパシティの鍛え方」

この文章が目にとまった方、こんにちは。まずは、近況報告です。先週に修論発表を終え、学生としてやるべきことも2回の学会発表を残すのみとなりました。(一体いつまで働かせるつもりなのだろうか...)ただ、資料作成も完了したので明日(2024年2月27日)からは、久々に練習に参加するつもりです。

前置きが長くなりましたが、この文章では、私が六年間の中で経験した陸上競技・研究・アルバイト・仕事・就職活動を通して感じた。「キャパシティの鍛え方」について持論を述べたいと思います。

最初にキャパシティの定義をしておきます。この文章において、「キャパシティ」を、「個人が抱える事が可能な肉体・

精神的な負荷の総量」と定義します。その上で私は、「キャパシティ」の大きさは、個々人の精神力・タスク処理能力に依存すると考えます。

上記のように考える理由はいくつかありますが、この文章を読む方に伝わり易いものとして陸上部の退部者の退部理由が伝わり易いと思います。退部した方の退部理由として多く挙げられるのが、陸上競技以外との兼ね合い・モチベーションの低下です。この2つの理由の内、モチベーションの低下は論外として、陸上競技以外との兼ね合いを理由に退部した方の共通点に、精神力・タスク処理能力が低いということが挙げられます。退部者の話を聞いた感想として、必要以上に自分を責める・自信がない・取り掛かりが遅い・一つタスクを処理するのに時間を掛けすぎている・優先順位をつけて行動できていない等、精神力・タスク処理能力が低いと感じる共通点が多く、「キャパシティ」の大きさが、精神力・タスク処理能力に依存すると考えるきっかけになりました。また、退部者の話の中には「陸上競技も続けたいんだけど時間的に厳しくて～」というものも多く含まれており、それを聞いた素直な感想は、「は？じゃあ時間作って続けられれば？」といったところなのですが、キャパシティの足りない方には難しいようです。

ここからが、「キャパシティの鍛え方」についてですが、結論としてキャパシティを鍛えるためには、常にスケジュールをタスクで埋め尽くした上で、全ての物事を成功させるための努力をする以外に方法はありません。身も蓋もない結論ですが、自分の身の丈以上のレベルで追い詰められない限り、精神力・タスク処理能力は伸びません。これは、プロサッカーの世界で責任ある仕事を任された上、大学院での研究・陸上競技に取り組んだ私の経験から断言できることです。

私の持論を聞くと多くの人が、「ほどほどの人生でいいから、そんなに疲れたくない」という反応を返してきますが、そのような反応を返してくる方は大抵、諦めや、適度な妥協を積み重ね、何でも無い日をつまらなそうに消化している気がします。これを読んだ方には、そういった生活を送らないでいただきたいので、常に己のキャパシティを鍛え続け、一日一日を充実させて欲しいと考えます。

蛇足にはなりますが、キャパシティを鍛えようと思ったきっかけは、上地先生が何気なく誰かに言った「大学生の時期はキャパシティを鍛える時期」という言葉を耳に挟んだことがきっかけでした。この言葉の



おかげで、息つく暇のないようなこの6年間で最高に楽しむと同時に、やり切ったと言い切ることが出来ました。

最後になりますが、上地先生、渡邊先生、先輩方、同期、後輩、関わってくださった全ての皆様に心から感謝いたします。またどこかで会いましょう。

大学院/理工学研究科/電気電子システム工学専攻/投擲

やり投げ：48m94cm

## 大塚泰地

唐突ですが、皆さんが陸上競技をするのはなぜでしょうか。陸上競技というスポーツが好きだから、個人スポーツをやりたいから、女の子にモテたいから、など理由は様々だと思います。私はつまらない人間ですので「誰かに何か1つでも認められたい」という目標があり、その手段として陸上をやってきました。ただこれだけでは大学で4年間も陸上を続けられなかったと思います。やはりチームの存在は大きく、「チームのために貢献したい」「チームメイトを応援したい」「先生にいい結果を伝えたい」といった様々な目標が次第に生まれていきました。これらの目標が陸上を続ける原動力となり、結果的に初めの目標も達成に大きく近づいたのではないかと思います。つまり何が言いたいのかと言いますと、チームメイトや先生の存在は偉大であるということです。みんなに感謝しよう。

私は大学院であと2年間陸上を続けますが、「部活」として「チーム」として陸上をやるのはこれが最後になると思います。余生はどうするか決めてませんが、悔いの残らないシーズンにするつもりです。よろしくお祈りします。

工学部/情報工学科/短距離

走幅跳：6m74

100m：11”31

200m：23”06



## 鬼澤大地

部活を引退した今思うのは、充実感の減少です。引退後、自由な時間が増えゆとりをもった充実した生活を送ることができると思っていました。がしかしそれは違いました。皆さんとともに当たり前前に陸上競技に励み、話し、笑い合うことが幸せだったということを感じています。人はないものねだりですね。

茨城大学陸上競技部での4年間を振り返ると非常に多くの時間と力を陸上競技に注いでいたと思います。中には箱根駅伝予選会への出場や自己ベストの更新、大会での入賞などいい思い出、けがやモチベーションの低下など苦しんだ時期もありました。そして『禍福は糾える縄の如し』という言葉があるように良いことと悪いことというのは誰にでもやってきます。私はこの悪いことの起きる時期がとても大事だと思っていて、この苦しい時期に自分の現状を把握し、改善することで成長できます。部活なしでは今の自分はないですし、環境に恵まれ、皆さんとともに目標に向かって陸上競技に励むことができたことは私の宝物です。

最後になりましたが、指導して下さった上地先生、渡邊先生、先輩方、同期、後輩の皆さん本当にお世話になりました。皆さんの活躍を心より願っています。ありがとうございました。

工学部/機械システム工学科/中長距離

3000mSC・9' 56" 69/42.195km・2時間44分19秒





## 高村茜

私は高校時代怪我で苦しんだので、大学では陸上はできないと思っていました。しかし、どうしてももう一度飛びたくて、大学2年の夏、この茨大陸上部に入部しました。小さいころからスポーツが苦手な、陸上競技においても結果は残していませんでしたが、それでも楽しいし、自分は運動苦手なんだしこんなもんだと満足していました。しかし、大学3年の春、先生からアドバイスをいただき、それを基に練習をすると、記録も感覚もどんどん良くなっていきました。怪我もほぼ再発せず練習することができ、最終的に学部で残せた記録は、昔の私からすると考えたこともないような結果を出せました。記録が伸びたとき、それまで知らなかった跳ぶ感覚や走る感覚、接地の感覚を味わうことができ、さらに楽しくなりました。そして、まだまだその先の感覚を知りたいと感じました。



もし記録が伸び悩んでいる人がいても、怪我がなかなか治らない人がいても、諦めずに練習を続けていればいつか記録が伸びるかもしれないし、伸びないかもしれません。でも、自分はまだまだこれからだと信じてやるべきことを継続することが成長につながるのではないかなと思います。

私は陸上が好きだし、この陸上部を好きになってしまいました。だって楽しすぎるしみんな良い人なんだもん。陸上を辞めるときの寂しさが今から怖いですが、あと2年この茨城大学陸上競技部で陸上を続けられることに感謝しながら、もっと先の感覚を知り、もっと楽しめるよう、後悔のないよう食欲に練習します。

最後になりましたが、ご指導くださった上地先生、渡邊先生、先輩方同期後輩の皆さんありがとうございました。学科の友達にもたくさん支えられましたありがとうございました。そして今後ともよろしくお願ひします。

工学部/都市システム/跳躍

走幅跳・5m35/三段跳・11m35/400m・59” 57



## 津崎 柊人

本来、4年で終わる大学陸上ですが、大学院に進学するに伴って、あと2年茨大で陸上を続けさせていただきます。昨年の11月にシーズンを終えてから、やり投をしたり駅伝に出たり、勝田マラソンに出たりと、今までで一番自由に陸上競技に取り組ませて頂きました。他の種目に真剣に取り組んでみて、陸上の楽しさを改めて感じることができ、とても充実した時間を過ごすことができたと思います。

私が茨大陸上部に入部しようと思ったのは、高校2年の冬でした。茨大が主催している冬合宿に参加させて頂いたのですが、そこで出会った当時の主将と主務の振る舞いに圧倒されました。自分と3つしか歳が変わらないはずなのに、なんでこんなに逞しく見えるんだろうと、1日目朝の集合の光景は今でも鮮明に覚えています。大学でも陸上ができたらいいなとやんわりとしか思っていませんでしたが、この合宿を通して「茨大で陸上をすること」が大学受験の1つのモチベーションになりました。

茨大で陸上をすることは、これだけ待ち望んでいたことだったのですが、競技者としてはなかなか思うようにはいきませんでした。たくさんのお客さんの前で、多くの歓声の中で試合がしたいという思いがあったので、「関東インカレで勝負すること」を目標に掲げ入部しました。本気でやれば必ず達成できる目標だと思っていたのですが、大学1年の秋から怪我に悩まされ続け、結局県選にすら出場することはできませんでした。私は心配性で完璧主義なので、とにかく練習を継続することが正義だと思い、多少の痛みや張りがあっても無理して練習をしました。目先の結果に拘りすぎず、まずはコツコツと積み重ねることが大学2年くらいまでは必要だということには分かっていたのですが、早く結果を残したい、少しでも上の大会に出たいという気持ちが焦りを生み出し、怪我をしそれがさらに焦りを生み出し、求めていたものは何も得ることができず4年間を終えてしまうことになってしまいました。

ただ、何もつまらない4年間だったわけではなく、茨大陸上部での活動は人として成長できるきっかけを与えてくれたと思います。私は1年間、主将を務めさせて頂きました。スタッフをした時期がコロナによる制限が緩和された頃で、中止や制限をされてきた大会が例年通り開催されるようになったり、入学してから2年間とは違うことが多くありました。チームとしての結束は、コロナ前と比べて弱くなっていたと思います。ほぼ立て直しを任されたような代ではありましたが、チームを前の状態に戻すのではなく、同期で意見を出し合いながら新しい取り組みを積極的に行っていました。全てが上手くいったわけではありませんが、いつ何時も部活のことを考えて、主将の任務を全うできたことは何にも代えがたい経験です。これを読んでいる後輩たちに伝えることがあるとすれば、自分にはできないかも、荷が重すぎるかもということであっても、それに挑戦できるチャンスがあれば逃さずぜひやってみてほしいです。それが上手くいっても上手くいなくてもよい経験になるはずです。

最後になりますが、上地先生、渡邊先生、先輩方、同期、後輩、皆様のおかげで充実した4年間を過ごすことができました。心から感謝いたします。これからの2年間を大事に、後悔しないよう全力で陸上競技に取り組みます。

教育学部/数学選修/跳躍

三段跳・13m27/走幅跳・6m33



## 中村天嶺

4年間お世話になりました。私は小学校3年生の時から14年間、陸上競技を続けてきましたが、大学生活での4年間が一番楽しかったです。そう思わせてくれたのは先輩方や後輩、それから家族の支えがあったからです。その方々に感謝します、ありがとうございました。

さて、私たちの代が入学した2020年は新型のコロナウイルスが流行し、部活動どころか授業すら対面で受けることができない状況でした。私は満足に活動できないことで退部していく者や休学・退学していく者を何人も見てきました。そのような中でも11人？残ってくれたことはうれしく思いましたし、精神面で心強かったです。

皆さんに伝えたいことは「やりたいこと」をやってほしいということです。1つは陸上競技だと思います。そのほかに「やりたいこと」がある人もいれば、まだ考えている人もいます。私は大学生活を通して様々なことを学びました。その結果、私の「やりたいこと」は大学で専門としている防災ではなく、旅行でした。自分のようなケースもあるので、ぜひ自分の「やりたいこと」やって人生を楽しんでください。陸上競技も最低限やるべきことやってその中で楽しんでください。楽しむことが記録につながると信じています。

最後になりましたが、上地先生、渡邊先生、先輩後輩方には大変お世話になりました、ありがとうございました。

理学部/地球環境科学コース/中長距離

800m・1分59秒10/1500m・4分09秒79



## 藤沼奈瑠

「部活がなくなったら楽しいことない」と引退前は口癖のように言っていました。それくらい部活が好きでした。でも、いざ引退してみたらやらなければならないこともやりたいことも多くて、引退しても案外楽しめるもんだなと思いつつ、写真を整理しているとみんなの写真ばかり出てきて、合宿も駅伝も参加して、結局部活から離れられていないじゃないかと何だか悔しいです。

ですが、振り返ってみると大好きな部活も楽しいだけではありませんでした。マネージャーもスタッフも選手や部を活かすための裏方です。「なんでここまでしなくちゃいけないんだろう」「私はいなくてもいいんじゃないか」と考えることも多くありました。でもそんな時、選手の「ありがとう」の言葉が私を支えてくれました。主催した五大学対校戦は審判やOB・OGなどたくさんの方々を支えてくださったお陰で無事終わることができました。教員採用試験前や勝田マラソンでの応援が心の支えになりました。自分がどれだけ人に恵まれて助けられていたのか、引退してより強く感じています。支援して下さる方々がいるから練習も不自由なくできますし、記録会だって大会だって出場できることが当たり前ではありません。私は、「応援されるチームにしたい」といつの日かに言いました。ただ競技力が高いだけでは応援したいと思えないと思います。自分を支えてくれる存在にどれだけ気づくことができるか。競技力向上はもちろんですが、皆さんにはたくさんの人に応援してもらえる愛される選手・マネージャーあってほしいし、お互いに応援して高め合える仲間であってほしいです。陸上競技と真摯に向き合い、結果やサポートでチームに貢献しようとする皆さんだから、私はこれからも応援したいと思えます。今しかできないこと、部活でしかできないことに今後も全力で取り組んでいってください。それでも結局、後悔やタラレバはついてきてしまうかもしれませんが、皆さんが最後に何か一つでもいいので「頑張った」と胸を張って卒業してくれたら嬉しいです。そりゃ結果も出してくれたらもっと嬉しいですけどね、報告してくれたらもっともっと嬉しいです、いつでもご報告お待ちしております^^

最後になりますが、ご指導して下さった上地先生、渡邊先生、たくさん支えてくださった先輩方、いつも一緒に頑張ってくれた同期、慕ってくれた後輩の皆さん、この部活を通して関わってくださった全ての皆様に感謝申し上げます。本当にありがとうございました。残留する同期たちをこれからもよろしくお祈りします^^

教育学部/国語選修/マネージャー



## 真木和泉

部活を引退するなんて考えられず、引退するまでほぼ毎日みんなに「寂しい寂しい」と訴えていた私ですが、部活に行かなくなった今、意外と普通に生活が送れています。卒論に追われてそれどころではなかったというのがありますが、これには自分でも驚きでした。

部活がなくても生活は出来る。そう、部活って本来やらなくてもいいものなんですよ、特に大学生なんかサークルとかバイトとか、部活のほかにもやれることってたくさんあると思うんです。でも、私は、私たちは、部活に入ることを選んだ。これって、とても言葉で表すのが難しいんですけど、これってとてもすごいことだと私は思うんです。部活が私とみんなを会わせてくれて、毎日に楽しさをくれて、4年間夢中になれるものをくれました。たとえ部活がなくても生活ができるんだとしても、私はまだ1日でも1時間でも長く部活に居たかったし、みんなの姿を見ていたかったなと思います。

選手とマネージャーは同じチームだけど、やっぱり少し違います。「一緒に頑張ろう！」って言いたいけれど、選手からしたら「走らないから言えるんだろう」って思うと思います。高校のころ練習キツイ時、自分も思ったことあるし。でもマネージャーは本気でみんなを応援しています。何もできないからこそ何かしてあげたいし一緒に頑張りたいんです。一緒に頑張らせてほしいんです。一緒にトラックを走ることは出来ないけれど、芝生を走って中間タイムを読むことは出来る。一緒にやりは投げられないけれど、動画を取って話を聞くことは出来る。ケガは代わってあげられないけれど、そこで挫けず毎日練習に来ていることを褒めることは出来る。そう思って私に出来ること、思いついたことはやってきたつもりですが、これも全てつもりでしかなくて、成果が目に見えないマネージャーという役割だからこそ、本当に私はみんなのためになっていたのかなあと、いつまでも自信はないままです。

でも、私なりに、なるちゃんと一緒に私たちに、一生懸命みんなのことを考えてきたあの時間は、絶対に無駄ではないと信じています。直接的にみんなに何かできたわけではなくても、巡り巡ってでも、後々になってからでも、みんなの結果と笑顔に結びつけばいいなと願っています。ケガも不調も全部を踏み台にして、みんなの努力と私たちの想いが形になることを祈っています。

スタッフも、マネージャーも、全てが上手くいくことばかりではなかったけれど、楽しかったです、全てが。涙することもあったけれど、笑顔の方が何倍も多くて、本当に私は恵まれていたんだなと思います。私の4年間は本当に部活でできていました。上地先生、渡邊先生、先輩方、かほさん、ともひ、日花里さん、なるちゃん、たかむら、同期、後輩のみんな、大井、関わってくださった全ての方々に感謝申し上げます。本当にお世話になりました。

4年間本当に本当にありがとうございました！！！！

**「一緒に頑張ろうはなんか違うとずっと思っている。親愛なるあなたへ、心を込めて。**

**頑張れ！！」**

教育学部/国語選修/マネージャー





## 宮本佳汰

まずは4年間ありがとうございました。高校から陸上を始めて早7年、楽しいことも辛いこともたくさんありました。陸上を辞めたいと思うことも多々ありました。ここまで続けてこれたのは同期や先輩、後輩、先生方、そして家族のおかげです。この場をお借りして感謝申し上げます。

この4年間を振り返るにあたって、残した結果から見ると「陸上」に本気で向き合えていなかったと言えます。しかし、茨城大学陸上競技部に所属した4年間は決して無駄になったとは思っていません。むしろ、自分にとって有意義なものであったと考えています。

多くの人との交流を通して、様々な考え方に触れることが出来たからです。考え方は人それぞれ違います。自分とは異なった考え方から得られる学びがあります。そのため、後輩の皆さんには多くの人と会話をし、交流を深めてほしいです。言葉を交わすことは相手の考えを理解する上で重要になります。様々な考え方に触れることで自分の考え方に変化をもたらし、今後の自分の生き方に良い影響を与えてくれるでしょう。

私は他の同期と違って1年間のボーナスタイムがあります。この1年間で有意義に出来るように頑張っていきたいと思います。残り1年間、よろしく願いいたします。

工学部/情報工学科/短距離

100m・12” 83/400m・56” 91



## 本村吉

4年間大変お世話になりました。陸上競技を選んで入部して良かったと今は思います。

毎シーズンが終わる度に、結果を見ては嘆き、練習しては怪我に悩まされ、思うようなシーズンを過ごせたことはありませんでした。3分台、14分台ランナーになると決めていたのにこの結果です。何とも言えないタイムだからこそ満足できず、引退できないのかも知れません。

私の事はさておき、中長距離ブロックの皆さんには大変お世話になりました。嫌な先輩になりたくない心がけていたつもりです。ちゃんとした先輩ではなかったような気がしますけどどうでしたかね？ああ、うん、いいね。しっかりした後輩達に恵まれました。もう少しだけ、一緒に走らせて下さい。よろしく願いいたします。

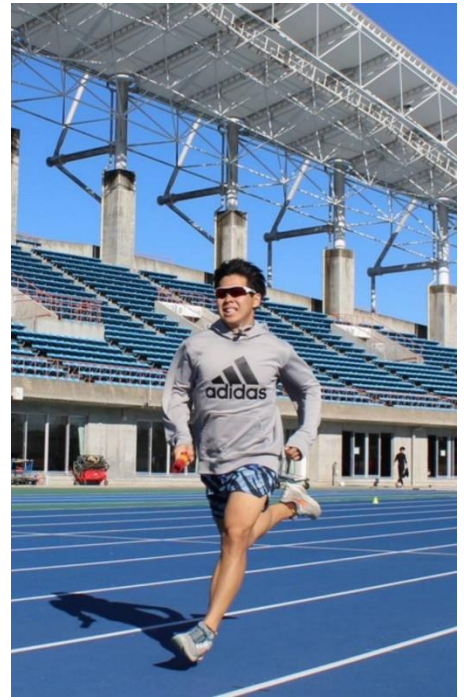
4年間はすぐに終わりが来ます。生きてると、他の人と自分を比べて羨ましいと思ったり、多数派と違うものは否定されたりと何かにつけて生きづらいなあ感じる事が多くあります。ですが、この4年間は自由なはずです。好きなことをするのも、何かに熱中するのもいいと思います。それが陸上でもいいし、そうでなくてもいいはずです。人に言われたから、否定されたから、で判断せず卒業する時に良い4年間だったと思える時間を過ごしてほしいかなと思います。

長くなりましたがまとめると、自分がしたいことをするのがいいよってことですね、あざす。

最後になりましたが、4年間ご指導頂いた上地先生、渡邊先生、深く感謝申し上げます。お2人のご指導のおかげで陸上競技を通してタイムだけでなく、人間的にも成長できたと思っています。本当にありがとうございました。今後もよろしくお願いします。

工学部/物質科学工学科/中長距離

1500m・4' 09" 15



## 矢吹雅行

3年弱という短い間でしたが大変お世話になりました。そして私のような半端者と共に活動してくださりありがとうございました。

2年前の私は4年生になった時にこのような場で文章を書いたり、走ったりしているとは夢にも思っていませんでした。当時は自分の思った通りに走れなくて、部活に競技面でも運営面でも貢献できていないという自責の感情を勝手に抱いていました。そしていつの間にか陸上競



技の面白さを忘れてしまったのだと思います。そのため、昨年度の5大学対校戦に応援に行った時の衝撃は今でも残っています。真摯に競技に打ち込む選手とそれを応援する部員の皆様の姿、大会を運営している同期の姿に感動と憧れを抱きました。「もう一度走ってみようかな」そう思ってから時間はあっという間に過ぎていきました。一度鈍ってしまった体を戻すのはきつくて、辞めた後も努力を続けていた同期や強い後輩に何度も練習で差を見せつけられ、自分の弱さを改めて痛感しました。しかし、不思議と気持ちは前向きで「絶対に追いついてやる」という気持ちを持って練習を積んでいきました。そして迎えた復帰戦は自己ベストにこそ届きませんでしたが、なんと大学ベスト4' 06" 12という結果を残すことができました。この時はそれまでの大学生活のなかでも最も嬉しかった体験です。その後もありがたいことに多くのレースを走らせていただき、嬉しい思い・悔しい思いを感じさせて頂きました。これらの経験が出来たのは、もう一度戻ってこないかと誘ってくれた本村や快く再入部を受け入れてくれた部員の皆様のおかげです。本当にありがとうございました。

その一方で、心残りもあります。だらしのない部分もありましたが、最後の1年は私なりにできる限り活動してきたつもりでした。しかし、部活の中心として責任を果たさなくてはならない重要な1年間を抜かしてしまったことは非常に心苦しいと感じています。特に箱根予選会出場まであと2名足りなかったという結果は、ブロックの雰囲気が出場時に少しでも前向きな影響を与えられていたらクリアできたのではないかと感じています。また迷惑をかけた分、対校戦や記録面で部に貢献したかったのですが、十分に貢献したとは言えない結果であり少し悔しい思いがあります。先日行われた27大学対校駅伝では、最低限度の走りこそできたものの後輩に追う展開のレースをさせてしまい、結果としてチームも入賞を逃してしまいました。部に残る皆様は私のように後悔を残さないよう気負わず仲間と共に頑張ってください。

最後になりますが、部への復帰を文句一つ言わず認めてくれた本村・中村・鬼澤をはじめとする同期、中長ブロックの皆さん、茨城大学陸上競技部の皆さん、上地先生・渡邊先生に最大限の感謝の意を表すと共に今後益々の活躍を祈っています。本当にありがとうございました。

教育学部/理科/中長距離ブロック

1500m・4' 03" 04



## 渡部善貴

4年間お世話になりました。最後までベストを出せず、辛いことも多くありましたが、充実した陸上生活を遅れたと思います。ここまで続けることが出来たのは、同期のみんなや先輩後輩、先生方のおかげです。

大学での陸上競技を振り返ると、とにかく思うように行かないことが多かったように思います。競技に関しても、スタッフ等の仕事に関しても自分1人ではどうにもならないことが多く、その度に周囲の人に助けられました。この経験のおかげで人に頼ることを覚えることができたかなと思います。社会に出て全てを自分の力で解決するのは不可能だと思うので、この経験は今後の人生で生きてくるのではないかと思います。

最後になりますが、陸上競技を行う中で関わった皆様には感謝いたします。本当にありがとうございました。また、後輩の皆さん、健康に気を付けて頑張ってください。応援しています。



## VI. OB/OG 近況報告・現役部員へのメッセージ

住田光駿

# 遠きに行くは 必ず 通きよりす

僕が誰かは先輩 or 後輩、先生に聞いてください。

在校生の方へ

基礎技術を磨き、体を鍛え、精神を育ててください。  
何か一つでも壁を乗り越えれば、大抵のことは怖くなくなります。  
最後はすべて筋肉が解決してくれます。

卒業生の方へ

ご卒業おめでとうございます。  
僕が4年の時の1年生が卒業だなんて、おじさん怖くなっちゃうよ。  
院生2人は6年間お疲れさまでした。日立刑務所からの釈放おめでとう。  
みんな、来年から社畜がんばろうな。



皆さま方の大学生活、社会人生活が素晴らしいものであることを心から願っております。  
ご卒業おめでとうございます。

2022 年度卒業 住田光駿



## 小野瀬樹

皆さんお久しぶりです。元中長距離ブロックの小野瀬です。現在は、常陸大宮市役所の土木建設課という所で働いています。仕事の内容としては、道路工事の施工管理的なことを主にやっています。専門的な内容が多くて、最初は失敗したなと思っていましたが、工事で携わった道路が何十年か残ると考えると面白いのかなと、最近は思うようにしています。土木でわからないことは、原龍正に聞きながら、頑張りたいと思います。

陸上に関しては、マラソンと駅伝はしばらく続けていこうと思います。埼玉の駅伝で山田と会った時は、驚きましたが、いろんな大会出ていけば会うこともあると思うので、どこかで会った際には声をかけてください。

最後に現役部員へのメッセージは、大学の部活は一人で頑張る時間が、高校までより多い分大変だと思いますが、続けていけば良いことあると思うので頑張ってください。



## 國府田千明

皆さん、こんにちは！昨年度卒業した國府田千明です。現在は、桜川市の小学校で2年生の担任をしています。毎日子どもたちと一緒に走り回って、勉強して、慌ただしくも楽しい日々を送っております。

教員として一年働き、「小さな積み重ねの大切さ」を実感しました。算数が苦手な子がかけ算九九を言えるようになったり、コミュニケーションが苦手でした子が、たくさんの友達に囲まれて遊べるようになったり、、その裏には、その子自身の毎日の小さな努力や、感情の変化があったのだろうと思いつつながら、子どもたちの成長に心を動かされる毎日です。できるようになったことを褒めるだけではなく、それまでの過程を認めてあげたいな、と感じています。

皆さんも、小さな積み重ねを大切に、貴重な学生生活を楽しんでください！

応援しています。



## 小滝丈慈

皆さんお久しぶりです。

安定だと思って入った会社が大炎上した小滝です。人生何があるか分からず面白いですね。

現在は千葉県で保険会社の営業の仕事を続けています。自分の担当をもって1人で営業に回っていますが、就活で割と無双していた自信はすっかりなくなり、できる先輩方に追いつこうと必死に足掻く毎日を送っています。

プライベートの方ですが、私は学生時代の終わりに、社会人でも1年か2年は陸上を続けたいと思っていました。しかし、慣れない仕事や環境に翻弄され、情けないことですがずっと運動する気力を失ってしまいました。最近になってようやく少し仕事にも慣れ、また跳びたいと思うようになってきたのでまた走ろうかと思っています。頑張っ今年度の県選には出たいと思うので、一緒に今シーズン頑張りましょう。

そんな私が皆さんにお伝えしたいことは、学生の内にやりたいことは何でもやって欲しいということです。社会人になると想像以上に自分の時間と体力、気力がなくなります。陸上競技に本気で打ち込むこともとても良いことですが、みなさん陸上以外にも内に秘めたるやりたいことがあるかと思います。根を詰めすぎず、勉強、部活、遊びを全力で楽しんでください。その経験は社会人になっても必ず活けると思います。あ、でもパチンコだけはマジでやらなくていいと思います。

茨城大学陸上競技部のみんなの益々のご活躍を祈り、応援しています。

人文社会科学部/法律経済学科/跳躍

棒高跳・4m70





## 小林亜由佳

皆さんお久しぶりです。昨年度卒業いたしました小林亜由佳です。こうしてOGとして部誌を書いていると一年の早さに驚きます。

私は現在、関西の会社でウォーターサーバーなどを取り扱う仕事をしております。人と接する機会が多く、コミュ障の私がやっていけるか不安でしたが徐々に慣れてきて今では楽しく働くことができます。競技も続けていて、今シーズンは上手くいかないことが多く苦しい一年になってしまいましたが、周りの方々に沢山支えられて何とかやってきました。

私から皆さんにお伝えできることは数少ないのですが、この一年で感じたことを少しお伝えできればと思います。私は学生時代に周りが見えていないとよく指摘されていました。自分の考えに固執しがちで固定観念にとらわれがちなところがありました。大学一年時に指摘を受けて少しずつ視野を広げるようにしてきましたが、なかなかできていませんでした。しかし昨年からは新しい環境に身を置くようになり、今まで見えていなかった部分に少しずつ気がつけるようになりました。人の考え方や価値観は様々で、色々な視点から見たり捉えたりすることで新たな発見ができることを実感しました。自分が成長する方法は一つではないんだと学びました。皆さんも何か壁に直面した時は、自分とは違う意見を取り入れてみたり今までやったことのないことをしてみたりすると、解決策が見えてくるかもしれません。学業に部活に忙しい日々を送られているかと思いますが、学生だからこそできることを全力で楽しんでこれからも頑張ってください。皆さんのご活躍を心から応援しています！



## 西條友博

昨年度卒業しました、西條です。

私は現在、茨城県の野菜の流通に携わる仕事をしています。1人1人に担当品目があり、自分の仕事は自分しか分からないという責任重めの環境で刺激的な日々を過ごしています。

人というのはそうそう変わらないもので、この1年、不安や悩み、ネガティブな考えを1人で抱え込み、自分を追い込みすぎて何回か潰れかけました。弱さを人に見せられず、無理しすぎてしまう悪い癖です。でも、大学時の自分とは違い、今は誰かに相談するという選択肢を持っています。結局は自分で何とかしないといけないことがほとんどですが、限界を迎える前に、聞いてもらう、知ってもらうことはとても大事なことだと改めて実感しています。

他にも変わらないことが1つ、私は今も走ることを続けています。19時まで家に着いた日と気が向いた時だけですが、適度に休息しながら楽しく走れています。幸いなことに私の職場には走友会があります。活動の一環として、年に何回かは職場の人と共にマラソン大会に出場することになりそうです。選手時代は中長で1番遅く、今はさらに、その頃には遠く及ばない体になってしまいましたが、走友会の人にとって私はかなり速い人のようです。劣等感が強く、口に出すことを躊躇していた記録が自慢になるとは想像もしていませんでした。1歩外の世界に出てしまえば、変わるものですね。

他の大学生を見て薄々感じているとは思いますが、皆さんのように大学で部活に、陸上に、力を注いでいる人は世間ではかなり少数です。しかし、そのことを意識しないくらい、部活が生活の大部分を占めているのではないのでしょうか。同じような感覚を持つ仲間に出会っていること、努力することが当たり前になっていること、今考えると素晴らしいことです。茨大陸上部に所属し得られたものは、間違いなく今の自分を支えています。

部活のことで苦しんでいた時、上地先生に促され、部誌を読み、気持ちが楽になったことを覚えています。当時の自分を思い浮かべて書いたので伝わりにくい部分も多々あると思いますが、何かしら感じ取ってもらえれば嬉しいです。みなさんが笑顔で引退の日を迎えられることを心より祈っています。ずっと応援しています。



## 澤畑英介

皆さん、お久しぶりです。現役1年生の皆さんは初めまして。昨年度卒業しました元工学部機械システム工学科の澤畑英介です。現在は茨城大学院で機械システム工学を専攻しています。大学院では、研究に力を入れつつ、日々の生活を送っています。

また、最近まで続けていたバイトが閉店してしまい、新しいバイトを始めたのですが、そのバイト先に同じ院生の陸上部の方がいることを知りました。その方から今年初めに行われた勝田マラソンの様子などを聞いて、皆さん頑張っているなど感じました。

そして、4年生の方々、ご卒業おめでとうございます。

私は、大学編入をして陸上部に入部したため、4年生の方々には色々とサポートしていただいた場面が多く、本当にお世話になりました。この場を借りてお礼を申し上げます。ありがとうございました。

短いですが、私が大事にしている言葉を残して終わりたいと思います。それは「迷った時は困難な道を選べ」です。これは岡本太郎が書いた本を読んでいた時に見つけた言葉で、色々と悩み事をしていた時期に1つの考え方として、とても参考になりました。皆さんもし興味があれば「自分の中に毒をもて」を読んでみてほしいと思います。

最後に、これからも身体に気をつけて頑張ってください。皆さんの来シーズンの活躍を心から祈っております。

工学部 / 機械システム工学 / 跳躍ブロック

110mH 15秒59（公認）





## 鈴木万裕

みなさん、お久しぶりです。元投擲ブロックの鈴木万裕です。現在は、北茨城市の小学校で2年生の担任をしています。小さな学校で単学級ということもあり、扎扎实り学年主任やっています。毎日何かしらのトラブルが起こる2年生の指導をしながら、事務処理をたくさんしなければならない教員はとても大変です。しかし、素直な子供たちの言葉に元気を貰うことも多々あります。幸い、私の学校は職員の間関係が最高で、職員室にいるのが苦ではありません。保護者も協力的な方ばかりでとてもやりやすいです。私は環境に恵まれてるなと感じます。

話は変わりますが、私は、2022年度の部誌で「仲間」について述べました。私が覚えてなかったのも、みなさんも当然覚えていないと思いますが、当時の言葉が今の私にとっても刺さっています。職場で「仲間」を作ることができれば、多少辛いことがあっても乗り越えられる気がします。今のところ、私はなんとか乗り越えてきています。

最後になりますが、陸上部のみなさん、辛い時や苦しい時に1人にならないでください。周りにはたくさん仲間がいるはずですよ。みなさんのご活躍を心より祈っております。

## 滝本康生

陸上競技部の皆さん、お久しぶりです。元短距離ブロックの滝本康生です。

現在は茨城県内の市役所で道路に関わる仕事をしています。今まで道路に対して深く接してきたことがないものですから、初めて聞く言葉や知識がほとんどで、学びが絶えない生活を送っています。

私は現在でも陸上競技を続けていますが、思うように練習ができていないのが現状です。その証拠にこの一年間で体重が4kg増えてしまいました。さすがに危機感を覚えています。

私が練習をあまりできていない要因の一つとして、一人で練習をしていることが挙げられます。私は自分に甘く、他人にもっと甘い人間なので、一人で走っていると、しんどいな。の一步手前で練習を終わりにしてしまいがちです。体重が増えるにつれて、より陸上競技部での練習が恋しくなっていく今日この頃でございます。現在、陸上競技部に在籍している皆さんはぜひ、たくさんの先輩・同期・後輩と練習ができる喜びを噛みしめて日々の陸上生活を過ごしてみてください。SNSや大会会場等で皆さんの楽しそうな姿を見ることを楽しみにしています。

私は来年度も競技を続ける予定です。記録会で一緒に走ることもあるかもしれません。いい勝負ができるように来年度は少しだけ自分に厳しく、頑張ってみます。

最後になりますが、茨城大学陸上競技部のますますのご活躍を祈って結びの挨拶とさせていただきます。



## 奈良日花里

お久しぶりです。私は茨城大学大学院理工学研究科量子線科学専攻へ進学しています。測定と解析の繰り返しでパソコンと見つめあっている日々です。文字だけだとあまり面白くなさそうですが、4年次と変わりわかることが増え研究の楽しさも感じるようになりました。

最後になりますが、大学4年間の貴重な時間の中の多くを部活へ費やしているので、過去の自分よりこの部分が成長できたといえる部分をぜひ見つけてほしいと思います。風のうわさで活躍を耳にすることもありうれしく思います。今後の茨城大学陸上競技部のご活躍も心からお祈り申し上げます。



## 野本菜奈

みなさん、こんにちは！お久しぶりです。昨年度卒業しました、野本菜奈です。現在は、地元の坂東市の小学校で5年生を担当しています。学校の先生は想像通り？想像以上に？大変で忙しいですが、同僚の先生方や子どもたちの笑顔に元気をもらいながら毎日頑張っています。なんでも聞いたら優しく教えてくださる頼もしい主任と力強くパワフルな隣のクラスの先生、学年外の先生方にもとてもよくしていただき、恵まれた環境の中で仕事をしています。

社会人になって改めて感じたことがあります。それは、自分のために使える時間が学生のとときと比べて、圧倒的に少ないということです。社会人になってもうすぐ1年が経ちますが、最近になって、ようやく限られた時間の中で何ができるかを考えて、優先順位をつけながら行動することができるようになりました。みなさんにも、今ある時間を大切にして、過ごしていてもらいたいなと思います。部活に打ち込めるのも貴重な時間ですね！

最後まで読んでくださりありがとうございました。

みなさんのご活躍をこれからも応援しています！

## 原龍正

私が茨城大学陸上競技部から離れて1年以上が経ちます。時の流れは速いものです。今回は、私の現状と私が陸上競技部在籍時にもっとやっておけば良かったと感じることを記そうと思います。もし、私と同様に大学院に進学予定で部活は学部までと考えている方の参考になればと思います。

私は、現在、前記の通り茨城大学理工学研究科に所属しており、日々、研究と就職活動に明け暮れている日々です。研究活動では学会に4回程参加し、多くの教授や専門家の方から有難い質問やご意見を頂き、研究内容を日々ブラッシュアップしている段階です。就職活動では、同期がすでに就職している中、これを部活と両立しながらやっていたことを現在になって認識し、同期ながら頭が下がる思いです。私も頑張ります。そんな中、私が茨城大学陸上競技部在籍時にもっとやっておけば良かったと感じることを現在の心境と併せて以下に記そうと思います。それは、「一緒に走ってくれる人の存在のありがたみを感じて、走る」ということです。私は走ることが好きなので現在も「1人」で走っています。しかし、部活の時に感じていた楽しさには及びません。それは、一緒に走ってくれる仲間の存在の有無が大きな要因の1つであると考えます。しんどいながらも励ましあい、レストの時間に練習メニューに文句を言い合った仲間の存在は、走る上でとても大きなものだったと現在になって感じています。一緒に走ってくれる仲間がいるその1本を大切にしてください。つらい練習のその1本も仲間と走れる貴重な1本と考えることでより頑張れると思います。

みなさんのご活躍を陰ながら応援しています。

工学部/都市システム工学専攻/元短距離ブロック



## VII. 記録集

### 茨大記録【男子】

種目	氏名	記録	期日	大会名	会場
100m	杉崎 弘周	10.51(+1.9)	1998/9/11	日本インカレ	国立競技場
200m	伊藤 太一	21.14(0.0)	2011/9/11	日本インカレ	KKWING
400m	今村 明彦	48.06	1994/9/9	日本インカレ	国立競技場
800m	今井 英明	1:53.9	1990/4/7	学連競技会	筑波
1500m	秋山 陽祐	3:56.42	2007/9/15	関東新人	国立競技場
3000m	小野 隼太	8:38.17	2016/4/2	世田谷記録会	世田谷
5000m	小野 隼太	14:30.75	2019/12/22	平成国際大記録会	鴻巣
10000m	小野 隼太	30:09.21	2018/12/23	松戸市記録会	松戸
110mH	立林 和歩	14.85(+0.1)	2018/11/3	北関東五大学	笠松
400mH	神尾 伸也	52.53	1994/8/23	関東選手権	笠松
3000mSC	小野 隼太	9:06.71	2017/5/26	関東インカレ	日産
5000mW	小向 瑞樹	24:40.48	2009/8/24	国公立 22 大学	千葉県総合
10000mW	小向 瑞樹	49:38.28	2010/5/16	関東インカレ	国立競技場
4×100mR	伊藤(林)・伊藤(太)・柰家・沖崎	40.49	2015/8/8	順大記録会	順天堂大学
4×200mR	浅井・佐藤・大久保・神尾	1:27.38	1995/5/28	リレー選手権	笠松
4×400mR	開・上杉・山本・和田	3:14.60	2008/5/25	関東インカレ	国立競技場
4×800mR	中村・飯塚・林・神尾	7:54.72	1994/5/29	リレー選手権	笠松
4×1500mR	滝沢・根本・千葉・金沢	16:38.08	1981/4/18	リレー選手権	笠松
スウェーデン R	浅井・成石・大久保・岡	1:57.44	1996/5/26	リレー選手権	笠松
走高跳	小沼 祐希	2m03	2017/9/16	国公立 26 大学	正田醤油
	塩畑 陽向	2m03	2022/8/25	関東甲信越	熊谷
棒高跳	岡山 進也	4m90	2001/5/26	リレー選手権	笠松
走幅跳	小林 洋大	7m34(+1.7)	2022/7/2	茨城県選手権	笠松
三段跳	吉野 学	14m81(+1.6)	2005/5/13	関東インカレ	国立競技場
砲丸投	海老原大輔	15m02	2005/8/20	関東選手権	敷島
円盤投	中浦 凌馬	41m77	2016/10/30	北関東五大学	正田醤油
ハンマー投	小林 朋寛	47m61	2013/8/3	千葉対校	笠松
やり投	中浦 凌馬	71m93	2017/05/27	関東インカレ	日産
十種競技	渡邊 将司	6676 点	1999/7/17・18	栃木県選手権	宇都宮
5km	富井 一仁	16.18	2011/2/20	結城シルクカップ	結城
10km	千葉 雅昭	31.20	1981/2/11	勝田マラソン	ひたちなか
20km	渡辺 雄馬	1:03.29	2006/10/21	箱根駅伝予選会	昭和記念公園
30km	鈴木徳次郎	1:41.12	1973/2/17	青梅マラソン	青梅
ハーフマラソン	小野 隼太	1:06.59	2018/11/18	上尾ハーフ	上尾
マラソン	秋山 陽祐	2:24.46	2008/1/27	勝田マラソン	ひたちなか

### 茨大記録【女子】

種目	氏名	記録(風速)	期日	大会名	会場
100m	鈴木 麻理	12.10(+0.8)	2010/10/24	北関東五大学	宇都宮
200m	鈴木 麻理	24.52(+0.1)	2010/10/24	北関東五大学	宇都宮
400m	肥田埜里枝	56.04	2013/8/10	N.S.S.U オープン	日体大
800m	石澤ゆかり	2:10.95	2010/9/26	国公立 22 大学	三ツ沢
1500m	野田 春香	4:33.51	2007/9/28	国公立 22 大学	緑が丘
3000m	石澤ゆかり	9:41.49	2010/11/20	日体大競技会	日体大
5000m	野田 春香	16:28.82	2008/7/13	ホクレンディスタンス	北海道
10000m	黒澤 夏楠	33:35.75	2013/11/23	10000m 記録挑戦競技会	国立競技場
100mH	石川ちひろ	14.07(+1.5)	2006/6/10	日本インカレ	日産スタジアム
400mH	石川ちひろ	61.34	2005/9/18	国公立 22 大学	国立競技場
3000msc	高野 美幸	11:24.53	2015/7/4	茨城県選手権	笠松
4×100mR	酒井・山口・鈴木(麻)・肥田埜	47.67	2012/7/5	茨城県選手権	小吹
4×200mR	黒川・大内・長谷川・呉	1:48.72	1994/5/29	リレー選手権	笠松
4×400mR	林田・鈴木(麻)・肥田埜・小畠	3:49.50	2012/9/9	日本インカレ	国立競技場
4×800mR	深谷・飯嶋・小林・柴	9:42.31	1994/5/29	リレー選手権	笠松
スウェーデン R	黒川・呉・長谷川・柴	2:22.05	1994/5/29	リレー選手権	笠松
走高跳	森 あゆ美	1m73	2008/8/26	関東甲信越	熊谷
棒高跳	山内 裕香	3m52	2012/7/6	茨城県選手権	小吹
走幅跳	山口 真未	5m81(-1.3)	2013/8/10	N.S.S.U オープン	日体大
三段跳	遠藤 園子	12m80(+0.7)	2013/10/14	国公立 23 大学	町田
砲丸投	神山 結衣	12m52	2017/6/4	栃木県選手権	宇都宮
円盤投	梅原 由香	45m84	1997/8/23	国体予選	笠松
ハンマー投	弓削真理子	51m33	2010/5/3	日体大競技会	日体大
やり投	島田 夏純	48m78	2016/10/30	北関東五大学	正田醤油
七種競技	山口 真未	4934 点	2013/9/6・7	日本インカレ	国立競技場
10km	野田 春香	34.16	2008/1/27	勝田マラソン	ひたちなか
ハーフマラソン	黒澤 夏楠	1:14.06	2013/3/17	まつえレディース	島根
フルマラソン	野田 春香	2:42.19	2009/1/25	勝田マラソン	ひたちなか

## 2023 年度ランキング

### 【男子】

種目	順位	氏名	記録
100m	1	中野 雅弥	11.00(+1.0)
	2	岡 奎一郎	11.03(+1.5)
	3	小林 洋大	11.14(+1.9)
200m	1	山口 大翔	22.39(+0.6)
	2	大場 有志	22.54(-0.6)
	3	岡 奎一郎	22.74(+0.2)
400m	1	美山 翔汰	49.15
	2	宮地 歩夢	51.46
	3	平出 悠翔	51.47
800m	1	平出 悠翔	1.57.39
	2	中村 天嶺	1.59.10
	3	羽鳥 貴博	2.03.11
1500m	1	矢吹 雅行	4.03.07
	2	下平 竣也	4.07.08
	3	山田 康太	4.07.59
3000m	1	中村 天嶺	9.53.90
	2	久野 彩翔	9.59.45
5000m	1	矢吹 雅行	15.23.97
	2	椎葉 威風	15.47.46
	3	本村 吉	15.49.07
10000m	1	矢吹 雅行	31.50.31
	2	本村 吉	32.25.68
	3	山田 康太	33.07.06
ハーフマラソン	1	本村 吉	1:11.24
	2	山田 康太	1:15.55
	3	羽鳥 貴博	1:17.32
フルマラソン	1	鬼澤 大地	2:44.19
	2	矢吹 雅行	2:46.24
	3	中澤 唯人	2:50.32
110mH	1	青木 廉	17.44(-0.9)
400mH	1	宮地 歩夢	56.49
	2	青木 廉	59.05
	3	赤城 拓	64.95

種目	順位	氏名	記録
3000mSC	1	山田 康太	9.29.70
	2	鬼澤 大地	9.56.69
	3	石川 純	10.06.55
4×100mR	1	山口・大塚・大場・中野	41.55
	2	山口・岡・大場・中野	41.80
	3	山口・大塚・岡・成瀬	42.08
4×400mR	1	宮地・美山・大場・山口	3.21.22
	2	杓谷・美山・大場・大塚	3.23.89
	3	杓谷・美山・大塚・山口	3.24.82
走高跳	1	伊藤 舜	1m95
	1	榎本 光希	1m95
棒高跳	1	藤井 航友	3m40
走幅跳	1	小林 洋大	7m03(-0.2)
	2	津崎 柊人	6m32(-0.6)
	3	大塚 泰地	6m30(+1.5)
三段跳	1	小林 洋大	14m52(+1.8)
	2	成瀬 慎人	14m04(+0.2)
	3	櫛田 旺来	13m48(+0.3)
砲丸投	1	大和田 健太	11m12
	2	渡部 善貴	10m42
	3	松本 直人	9m55
円盤投	1	大和田 健太	36m23
	2	福嶋 風杜	33m97
	3	渡部 善貴	29m82
ハンマー投	1	大和田 健太	30m06
やり投	1	渡部 善貴	57m28
	2	福嶋 風杜	53m26
	3	松本 直人	48m94



【女子】

種目	順位	氏名	記録
200m	1	高村 茜	27.41(-0.8)
	2	服部 希恵	28.43(-0.7)
400m	1	高村 茜	59.47
	2	服部 希恵	1.03.81
800m	1	山内 鈴	2.23.53
	2	岡村 歩璃	2.38.82
1500m	1	山内 鈴	4.50.14
	2	岡村 歩璃	5.29.10
	3	村井 友音	5.49.20
3000m	1	岡村 歩璃	11.49.11
	2	村井 友音	12.48.28
4×100mR	1	大森・服部・西原・高村	51.49
4×400mR	1	服部・大森・高村・山内	4.11.54
	2	服部・高村・山内・大森	4.12.34
	3	服部・大森・西原・高村	4.14.87
走高跳	1	西原 香々菜	1m40
走幅跳	1	大森 麻由	5m17(+1.3)
	2	高村 茜	5m12(+0.4)
	3	西原 香々菜	4m38(+1.0)
三段跳	1	高村 茜	11m35(-0.5)
	2	大森 麻由	11m12(+1.5)
	3	西原 香々菜	10m27(+0.2)
円盤投	1	石川 日輝	34m80
ハンマー投	1	今野 真唯	45m80
やり投	1	石川 日輝	35m94
	2	今野 真唯	20m40

対校戦順位

順位	男子			女子		
	総合	トラック	フィールド	総合	トラック	フィールド
	第72回関東甲信越大学大会陸上（男子総合4位・女子総合6位）					
1	筑波大学	筑波大学	筑波大学	筑波大学	筑波大学	筑波大学
2	山梨大学	埼玉大学	茨城大学	埼玉大学	埼玉大学	埼玉大学
3	横浜国立大学	千葉大学	山梨大学	都留文科大学	都留文科大学	都留文科大学
	第36回国公立27大学対校陸上競技大会（男子総合11位・女子総合11位）					
1	東京学芸大学	東京工業大学	東京学芸大学	東京学芸大学	福島大学	東京学芸大学
2	福島大学	福島大学	福島大学	福島大学	東京学芸大学	福島大学
3	東京工業大学	東京学芸大学	茨城大学	都留文科大学	静岡大学	横浜国立大学
	第74回北関東五大学対校陸上競技大会（男子総合2位・女子総合4位）					
1	群馬大学	群馬大学	茨城大学	群馬大学	埼玉大学	群馬大学
2	茨城大学	埼玉大学	宇都宮大学	宇都宮大学	群馬大学	宇都宮大学
3	埼玉大学	茨城大学	群馬大学	埼玉大学	宇都宮大学	茨城大学
	第20回国公立27大学対校駅伝（男子9位・女子6位）					
1	信州大学			群馬大学		
2	新潟大学			都留文科大学		
3	東京工業大学			千葉大学		

## VIII. 部員名簿

学年	氏名	出身校/出身地	ブロック	学部/学科
院2	小林 洋大	木更津/千葉	跳躍	工/物質
院2	松本 直人	浜松南/静岡	投擲	工/電電
院1	中野 雅弥	日立一/茨城	跳躍	教/保体
4年	大塚 泰地	八戸/青森	短距離	工/情報
4年	鬼澤 大地	鉾田一/茨城	中長距離	工/機械工
4年	高村 茜	市川/千葉	跳躍	工/都市
4年	津崎 柊人	竜ヶ崎一/茨城	跳躍	教/数学
4年	中村 天嶺	帝京長岡/新潟	中長距離	理/地球環境
4年	藤沼 奈瑠	水城/茨城	マネージャー	教/国語
4年	真木 和泉	竜ヶ崎一/茨城	マネージャー	教/国語
4年	宮本 佳汰	竜ヶ崎一/茨城	短距離	工/情報
4年	本村 吉	都城泉ヶ丘/宮崎	中長距離	工/物質工
4年	矢吹 雅行	水戸葵陵/茨城	中長距離	教/理科
4年	渡部 善貴	会津学鳳/福島	投擲	工/物質工
3年	石川 暖	静岡市立/静岡	短距離	工/物質工
3年	大場 有志	古川/宮城	短距離	工/電電
3年	岡 奎一郎	小樽潮陵/北海道	短距離	人/現社
3年	遠井 奏楽	牛久栄進/茨城	短距離	理/地球環境
3年	美山 翔汰	緑岡/茨城	跳躍	教/保体
3年	西脇 真輝	土浦日大/茨城	中長距離	理/生物
3年	羽鳥 貴博	下妻一/茨城	中長距離	理/化学
3年	福嶋 風杜	下館一/栃木	投擲	教/保体
3年	松下 侑生	姫路西/兵庫	短距離	工/電電
3年	宮地 歩夢	市立千葉/千葉	短距離	理/学際理学
3年	八木 奎伍	我孫子/千葉	中長距離	人/人間文化
3年	山内 鈴	会津学鳳/福島	中長距離	教/数学
2年	石川 日輝	日立一/茨城	投擲	教/保体
2年	岡村 歩璃	科学技術/静岡	中長距離	農/食生命
2年	川添 敬介	土浦一/茨城	中長距離	工/電電
2年	菊池 悠太	牛久栄進/茨城	跳躍	教/保体
2年	北村 樹	磐城/福島	中長距離	農/地域総合
2年	齋藤 直哉	松本蟻ヶ崎/長野	中長距離	工/都市

学年	氏名	出身校/出身地	ブロック	学部/学科
2年	椎葉 威風	専修大松戸/千葉	中長距離	工/機械
2年	中澤 唯人	横浜隼人/神奈川	中長距離	理/物理
2年	久野 彩翔	石橋/栃木	中長距離	農/地域総合
2年	平出 悠翔	葵/福島	中長距離	理/物理
2年	藤井 航友	札幌南/北海道	跳躍	理/物理
2年	山田 康太	松山/埼玉	中長距離	教/保体
1年	青木 廉	太田/群馬	短距離	工/情報
1年	赤城 拓	青森/青森	短距離	人/法律経済
1年	浅野 公希	水戸啓明/茨城	短距離	教/社会
1年	石川 純	水戸葵陵/茨城	中長距離	教/国語
1年	磯崎 梨紗	緑岡/茨城	中長距離	教/教育実践
1年	伊藤 舜	佐原/千葉	跳躍	人/人間文化
1年	榎本 光希	館林/群馬	跳躍	工/都市
1年	大島 涼葉	石橋/栃木	マネージャー	教/数学
1年	大場 桜平	二松学舎柏/千葉	中長距離	教/理科
1年	大森 麻由	水戸二/茨城	跳躍	人/人間文化
1年	大和田 健太	東洋大牛久/茨城	投擲	工/情報
1年	櫛田 旺来	水城/茨城	跳躍	工/都市
1年	小池 楽獲	松商学園/長野	短距離	工/物質
1年	佐藤 寿樹	松本深志/長野	短距離	工/電電
1年	下平 竣也	岐阜北/岐阜	中長距離	工/機械
1年	杓谷 響	静岡東/静岡	跳躍	工/機械
1年	高橋 優花	牛久栄進/茨城	マネージャー	農/食生命
1年	富岡 空	桜ノ牧/茨城	跳躍	教/保体
1年	成瀬 慎人	桜ノ牧/茨城	跳躍	人/法律経済
1年	西原 香々菜	竜ヶ崎一/茨城	跳躍	教/保体
1年	服部 希恵	竜ヶ崎一/茨城	短距離	農/地域総合
1年	宮内 翔平	成東/千葉	中長距離	工/情報
1年	村井 友音	緑岡/茨城	中長距離	教/保体
1年	山口 大翔	竜ヶ崎一/茨城	短距離	教/保体
1年	山崎 海翔	水戸一/茨城	中長距離	工/機械

## 編集後記

今回も部誌を作成するにあたり、ご協力いただいた皆様に感謝申し上げます。皆様のおかげで部誌を無事に発行することができました。今年度はコロナウイルスが第5類感染症となつて有観客で声出し応援ができるようになり、活気のある大会の姿が戻ってきました。関東インカレでは男子4×400mRで標準記録を突破し、5年ぶりに本大会へ出場いたしました。

しかしシーズンを通して振り返ると、部全体としては振るわない結果となった1年でした。2024年度は多くの大会で活躍する姿を見せられるように、これからも精進していきます。(文責：山内鈴)

### 茨城大学陸上競技部に関するお問い合わせ

陸上競技部に関するご意見・ご質問は、ホームページ内の掲示板、もしくは、顧問の上地までよろしく  
お願いいたします。

皆様からの情報をお待ちしております。

ホームページ URL

[茨城大学陸上部 - 茨城大学陸上競技部 \(jimdo.free.com\)](http://jimdo.free.com)

顧問 上地 勝・渡邊 将司

〒310 - 8512 水戸市文京 2-1-1

茨城大学教育学部

Tel & Fax: 029-228-8477 (研究室)

e-mail: [masaru.ueji.he@vc.ibaraki.ac.jp](mailto:masaru.ueji.he@vc.ibaraki.ac.jp)

茨苑 AC に関するお問い合わせ

〒310 - 8512 水戸市文京 2-1-1

茨城大学教育学部

Tel: 029-228-8453

e-mail: [masashi.watanabe.1978@vc.ibaraki.ac.jp](mailto:masashi.watanabe.1978@vc.ibaraki.ac.jp)

渡邊 将司

茨城大学陸上競技部 部誌「Perspiration」第18号

令和6年3月8日発行

編集責任者

山内鈴

発行者 茨城大学陸上競技部